流山市障害福祉計画アンケート調査
結果報告書

令和２年３月

流　山　市

目　次

第１章　調査の概要

１　調査の目的 …… 3
２　調査の概要 …… 3
３　回収結果 …… 3
４　報告書を読む際の留意点 …… 4

第２章　調査の結果

１　回答者（本人）の属性 …… 7
２　生活の状況について …… 13
３　障害や病気、発達の不安のある子どもの生活状況について …… 22
４　外出・移動支援について …… 27
５　社会参加・地域参加について …… 32
６　雇用・就業について …… 38
７　保健・医療について …… 42
８　情報・コミュニケーションについて …… 45
９　介助者の状況について …… 48
10　権利擁護について …… 53
11　成年後見制度について …… 57
12　障害者虐待防止法について …… 58
13　今後の施策の重要度について …… 59
14　自由意見 …… 63

付属資料

調査票 …… 67

第１章
調査の概要

１　調査の目的

本調査は、令和３年度から始まる「第６次障害者計画」及び「第６期障害福祉計画」、「第２期障害児福祉計画」の策定にあたり、障害者の皆様の実情やニーズを把握したり、市民の皆様の障害者施策へのご意見を新しい計画に反映させるために実施しました。

２　調査の概要

（１）調査対象者

調査対象	対象者数
市内に在住の障害者手帳または自立支援医療受給者証をお持ちの方、障害福祉サービス受給者の方から無作為抽出	1,000 人

※令和元年 12 月１日現在

（２）調査方法及び調査期間

調査方法：郵送配付・郵送回収

調査期間：令和元年 12 月 23 日（月）～令和２年１月 10 日（金）

３　回収結果

発送数	回収数	回収率
1,000	473	47.3%

４　報告書を読む際の留意点

①調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第２位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が 100.0%にならない場合があります。

②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100.0%を超えます。

③図表中の「ｎ」とは、回答者数を表します。また、全体の結果で「ｎ」が 100 を下回る場合、本文中では回答比率と共に回答者実数も併記しています。

④選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いていることがあります。

⑤「その他」や「無回答」のように、回答から読み取れるものが少ないものについては、言及しないことがあります。また、クロス集計表等の表側においては、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを省略しています（ただし、全体の件数には含めているため、各項目の件数の合計が全体の件数と一致しない場合があります）。

⑥クロス集計等の分析の際には、全体の結果より５ポイント以上多いものを「多い」とし、５ポイント以上少ないものを「少ない」と表現しています。

⑦回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

⑧障害種別のクロス集計は「問４ 障害や難病の状況」の数値を使用しています。また、「身体障害者手帳所持者」を【身体】、「療育手帳所持者」を【知的】、「精神障害者保健福祉手帳所持者」を【精神】、「難病（特定疾患）認定者」を【難病】、「発達障害と診断」と回答した人を【発達】、「高次脳機能障害と診断」と回答した人を【高次】と、省略して記載しています。

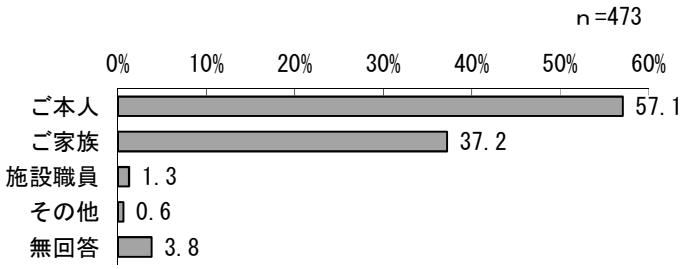
第２章
調査の結果

１　回答者（本人）の属性

（１）回答者

このアンケートに回答していただけるのは、どなたですか。（１つに○）

回答者については、「ご本人」が 57.1%で最も多くなっています。



●障害種別

【身体】、【精神】、【難病】では「ご本人」が、【知的】、【発達】、【高次】では「ご家族」が最も多くなっています。

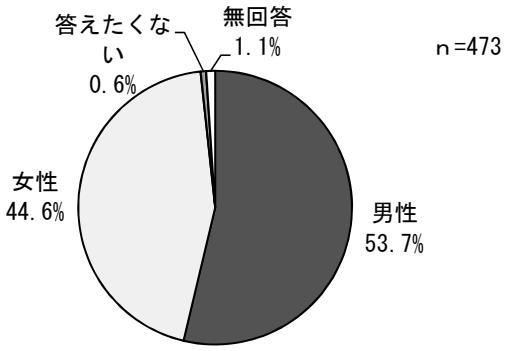
	合計（人）	ご本人	ご家族	施設職員	その他	無回答
全体	473	57.1	37.2	1.3	0.6	3.8
身体	254	66.9	25.6	1.2	1.2	5.1
知的	166	27.1	69.3	2.4	0.0	1.2
精神	73	82.2	12.3	0.0	2.7	2.7
難病	27	70.4	22.2	0.0	0.0	7.4
発達	68	27.9	69.1	2.9	0.0	0.0
高次	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（２）性別

問１　あなたの性別はどちらですか。（１つに○）

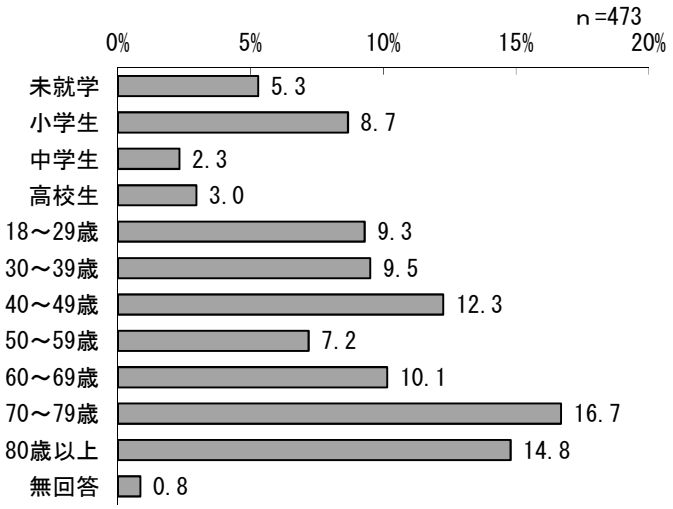
性別については、「男性」は 53.7%、「女性」は 44.6%となっています。



（３）年齢

問２　あなたの年齢は、何歳ですか。（令和元年 12 月１日現在）（１つに○）

年齢については、「70～79 歳」が 16.7%、「80 歳以上」が 14.8%、「40～49 歳」が 12.3%の順に多くなっています。



●障害種別

【身体】では「70 歳以上」、【知的】では「小学生」と「18～39 歳」、【精神】では「30～59 歳」、【難病】では「60～79 歳」、【発達】では「小学生」が全体より多くなっています。

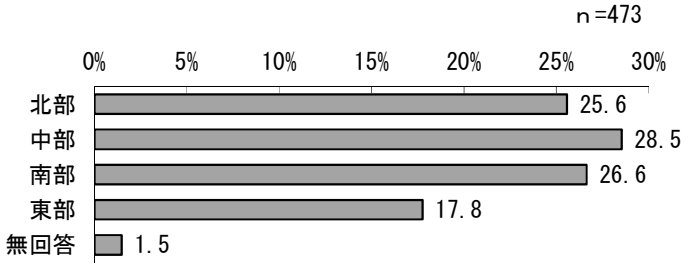
	合計（人）	未就学	小学生	中学生	高校生	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全体	473	5.3	8.7	2.3	3.0	9.3	9.5	12.3	7.2	10.1	16.7	14.8	0.8
身体	254	4.3	3.9	0.4	2.4	3.1	5.5	7.1	4.7	14.6	28.7	24.8	0.4
知的	166	7.8	17.5	6.6	7.8	22.3	14.5	13.3	4.2	0.6	2.4	2.4	0.6
精神	73	0.0	2.7	0.0	1.4	6.8	16.4	30.1	17.8	11.0	8.2	5.5	0.0
難病	27	3.7	11.1	0.0	3.7	3.7	11.1	3.7	7.4	18.5	29.6	7.4	0.0
発達	68	5.9	32.4	5.9	11.8	13.2	10.3	11.8	2.9	2.9	1.5	1.5	0.0
高次	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

（単位：%）

（４）居住地域

問３　あなたがお住まいの地域はどちらですか。（１つに○）

居住地域については、「北部」が 25.6%、「中部」が 28.5%、「南部」が 26.6%、「東部」が 17.8%となっています。

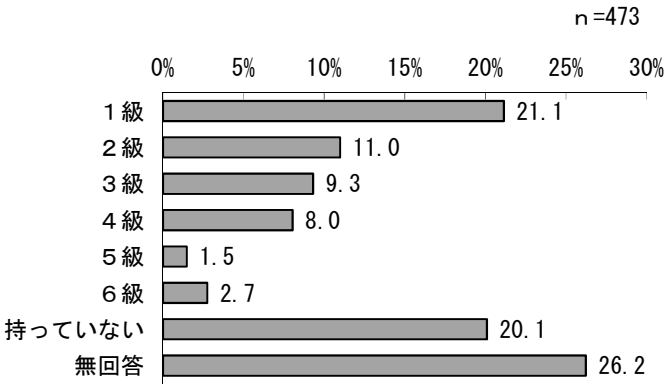


（５）障害や難病の状況

①身体障害者手帳の所持状況

問４　あなたの障害や難病の状況についておたずねします。（以下の①～⑧の項目ごとに該当する数字を○で囲んでください。）
①身体障害者手帳の等級

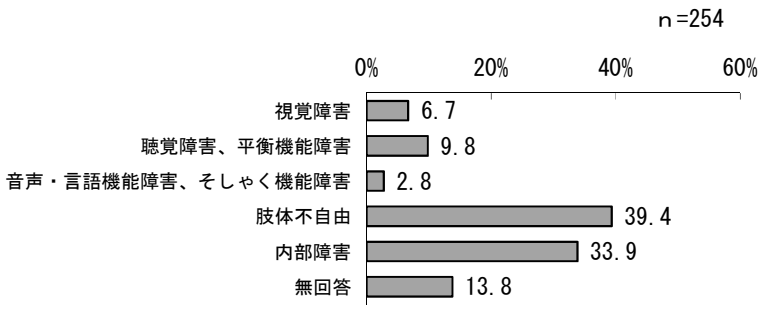
身体障害者手帳については、「持っていない」と無回答を除くと、「１級」が 21.1%で最も多くなっています。



②身体障害の種類

問４　①-1 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。手帳に記されている障害をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

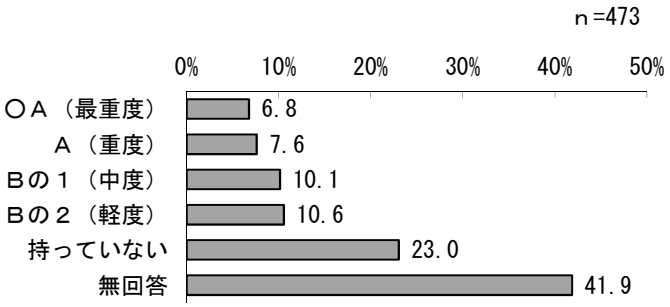
身体障害者手帳を持っていると回答した人に障害の種類について聞いたところ、「肢体不自由」（39.4%）と「内部障害」（33.9%）が３割を超えて多くなっています。



③療育手帳の所持状況

問４ ②療育手帳の等級

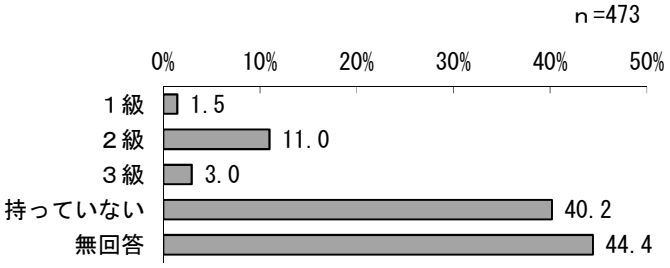
療育手帳については、「持っていない」と無回答を除くと、「Bの２（軽度）」（10.6%）と「Bの１（中度）」（10.1%）が１割を超えています。



④精神障害者保健福祉手帳の所持状況

問４ ③精神障害者保健福祉手帳の等級

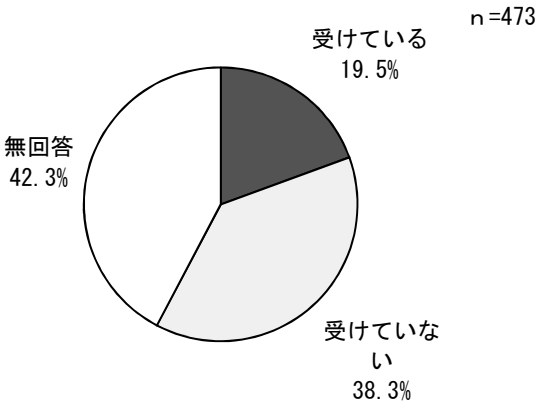
精神障害者保健福祉手帳については、「持っていない」と無回答を除くと、「２級」が 11.0%で最も多くなっています。



⑤自立支援医療の受給状況

問４ ④自立支援医療の受給

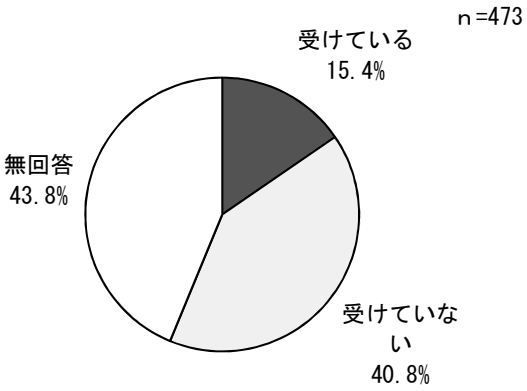
自立支援医療の受給状況については、「受けている」が 19.5%、「受けていない」が 38.3%となっています。



⑥重度心身障害者医療費助成の状況

問４ ⑤重度心身障害者医療費助成

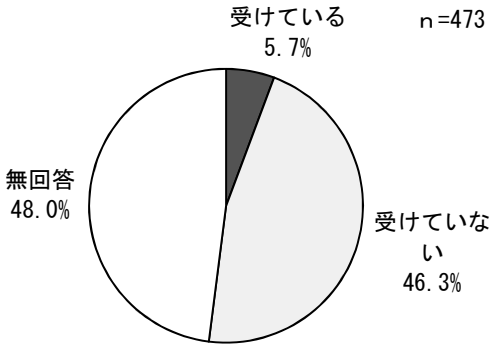
重度心身障害者医療費助成の状況については、「受けている」が15.4％、「受けていない」が40.8%となっています。



⑦難病（特定疾患）認定の状況

問４ ⑥難病（特定疾患）認定

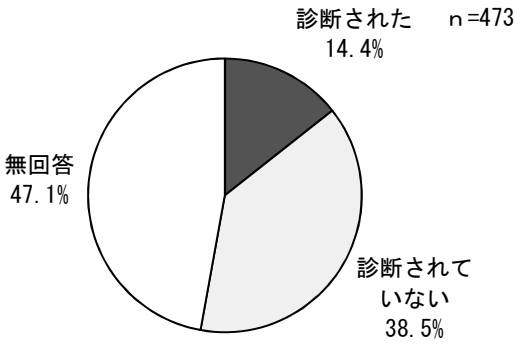
難病（特定疾患）認定の状況については、「受けている」が5.7%、「受けていない」が 46.3%となっています。



⑧発達障害の診断状況

問４ ⑦発達障害と診断

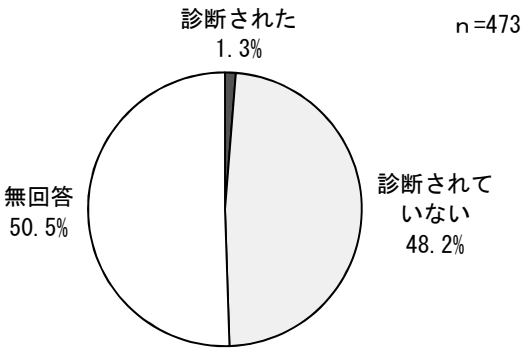
発達障害の診断状況については、「診断された」が 14.4%、「診断されていない」が 38.5%となっています。



⑨高次脳機能障害の診断状況

問４ ⑧高次脳機能障害と診断

高次脳機能障害の診断状況については、「診断された」が 1.3%、「診断されていない」が 48.2%となっています。

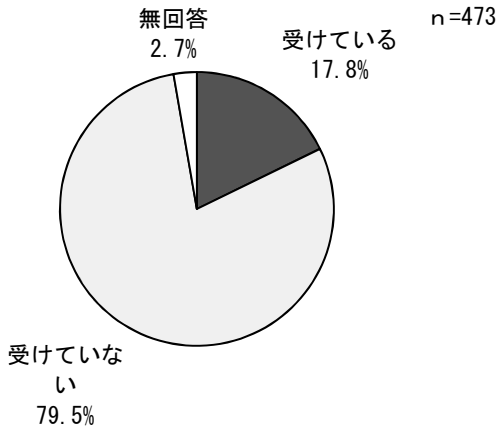


（６）要介護認定の状況

①要介護認定

問５ あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。（１つに○）

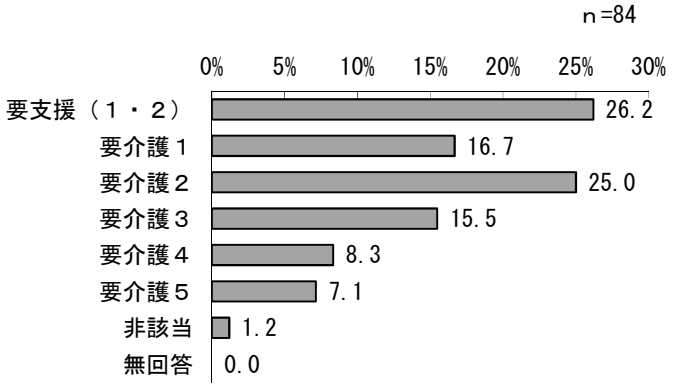
要介護認定については、「受けている」が 17.8%、「受けていない」が 79.5%となっています。



②要介護度

問６ 問５「１．受けている」と回答した方にお聞きします。あなたの要介護度はいくつですか。（１つに○）

要介護認定を受けていると回答した人に要介護度について聞いたところ、「要支援（１・２）」（26.2%）と「要介護２」（25.0%）が２割を超えています。

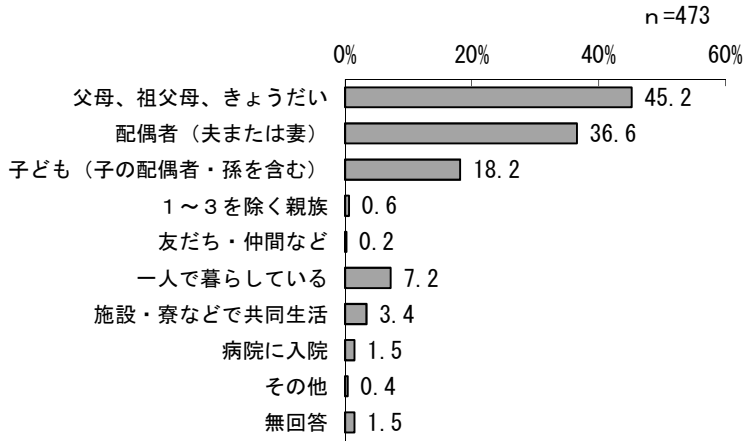


２　生活の状況について

（１）同居している家族等

問７　あなたと一緒に暮らしているひとは、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

同居している家族等については、「父母、祖父母、きょうだい」（45.2%）が最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」（36.6%）が多くなっています。



●障害種別

【身体】と【難病】では「配偶者（夫または妻）」と「子ども（子の配偶者・孫を含む）」、【知的】と【発達】では「父母、祖父母、きょうだい」、【精神】では「一人で暮らしている」、【高次】では「子ども（子の配偶者・孫を含む）」が全体より多くなっています。

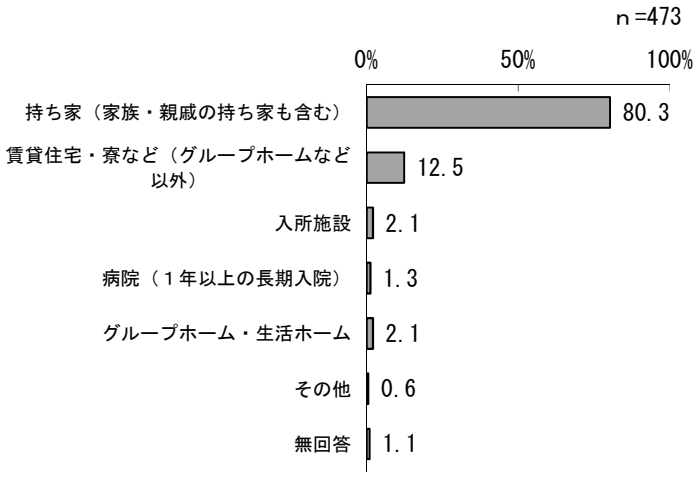
	合計（人）	父母、祖父母、きょうだい	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	１～３を除く親族	友だち・仲間など	一人で暮らしている	施設・寮などで共同生活	病院に入院	その他	無回答
全体	473	45.2	36.6	18.2	0.6	0.2	7.2	3.4	1.5	0.4	1.5
身体	254	20.5	58.7	26.8	0.4	0.4	7.5	3.5	2.4	0.0	1.6
知的	166	86.1	4.8	3.0	0.0	0.0	1.2	3.6	0.6	0.6	1.2
精神	73	45.2	20.5	13.7	1.4	0.0	19.2	4.1	4.1	1.4	0.0
難病	27	22.2	59.3	29.6	0.0	0.0	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0
発達	68	80.9	11.8	10.3	0.0	1.5	1.5	2.9	0.0	0.0	1.5
高次	6	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（２）住んでいる場所

問８　あなたは、どこで暮らしていますか。（１つに○）

住んでいる場所については、「持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）」が 80.3%で最も多くなっています。



●障害種別

【精神】では「賃貸住宅・寮など（グループホームなど以外）」が全体より多くなっています。

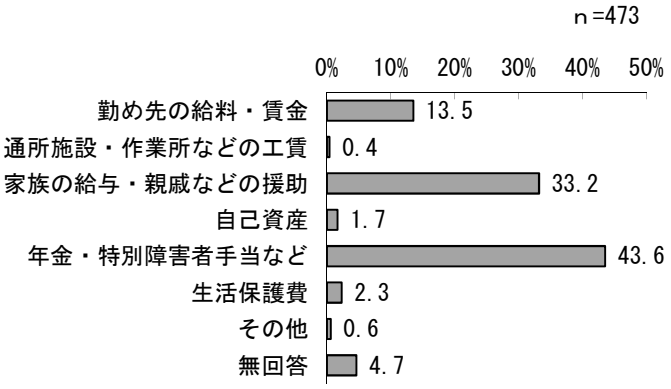
	合計（人）	持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）	賃貸住宅・寮など（グループホームなど以外）	入所施設	病院（1年以上の長期入院）	グループホーム・生活ホーム	その他	無回答
全体	473	80.3	12.5	2.1	1.3	2.1	0.6	1.1
身体	254	82.7	9.8	2.8	2.0	0.8	0.8	1.2
知的	166	81.3	11.4	2.4	0.0	3.6	0.0	1.2
精神	73	67.1	20.5	1.4	4.1	5.5	1.4	0.0
難病	27	81.5	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0
発達	68	82.4	13.2	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5
高次	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（３）主な収入

問９　あなたの生活を支えている主な収入は何ですか。（１つに○）

主な収入については、「年金・特別障害者手当など」が 43.6%で最も多く、次いで「家族の給与・親戚などの援助」が 33.2%で多くなっています。



●障害種別

【身体】・【精神】・【難病】・【高次】では、全体の結果と同様、「年金・特別障害者手当など」が最も多くなっていますが、【知的】と【発達】では「家族の給与・親戚などの援助」が最も多くなっています。

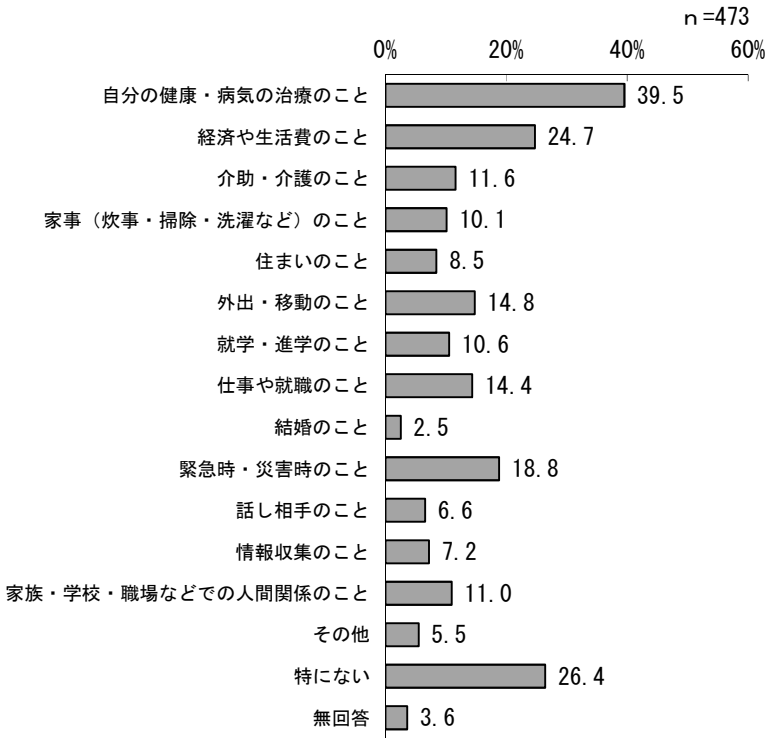
	合計（人）	勤め先の給料・賃金	通所施設・作業所などの工賃	家族の給与・親戚などの援助	自己資産	年金・特別障害者手当など	生活保護費	その他	無回答
全体	473	13.5	0.4	33.2	1.7	43.6	2.3	0.6	4.7
身体	254	10.2	0.4	20.9	2.4	59.8	1.2	0.0	5.1
知的	166	15.1	0.6	59.0	0.0	21.1	0.6	0.0	3.6
精神	73	13.7	0.0	21.9	2.7	42.5	5.5	1.4	12.3
難病	27	11.1	0.0	37.0	0.0	48.1	0.0	0.0	3.7
発達	68	13.2	0.0	63.2	0.0	17.6	0.0	1.5	4.4
高次	6	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（４）悩みや相談したいこと

問 10 現在、あなたは、悩んでいることや、誰かに相談したいことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや相談したいことについては、「特にない」を除くと、「自分の健康・病気の治療のこと」が 39.5%で最も多く、次いで「経済や生活費のこと」が 24.7%、「緊急時・災害時のこと」が 18.8%で多くなっています。



●障害種別

【精神】では「自分の健康・病気の治療のこと」、「経済や生活費のこと」、「仕事や就職のこと」、「家族・学校・職場などでの人間関係のこと」、「家事（炊事・掃除・洗濯など）のこと」、「話し相手のこと」、「情報収集のこと」が全体より多く、また「特にない」が全体より少ないことから、悩みなどが多いことがうかがえます。

本人の年齢が若い傾向にある【知的】と【発達】では（→８ページ参照）、「就学・進学のこと」が全体より多くなっています。

また、【難病】では「外出・移動のこと」、「家事（炊事・掃除・洗濯など）のこと」、「介助・介護のこと」が全体より多くなっています。

	合計（人）	自分の健康・病気の治療のこと	経済や生活費のこと	介助・介護のこと	家事（炊事・掃除・洗濯など）のこと	住まいのこと	外出・移動のこと	就学・進学のこと	仕事や就職のこと
全体	473	39.5	24.7	11.6	10.1	8.5	14.8	10.6	14.4
身体	254	42.5	21.3	13.8	9.1	5.9	16.9	4.3	7.1
知的	166	27.7	22.9	11.4	11.4	12.0	16.9	19.3	18.1
精神	73	56.2	46.6	6.8	16.4	12.3	5.5	6.8	35.6
難病	27	44.4	22.2	18.5	18.5	7.4	37.0	7.4	11.1
発達	68	25.0	26.5	5.9	10.3	7.4	13.2	35.3	25.0
高次	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

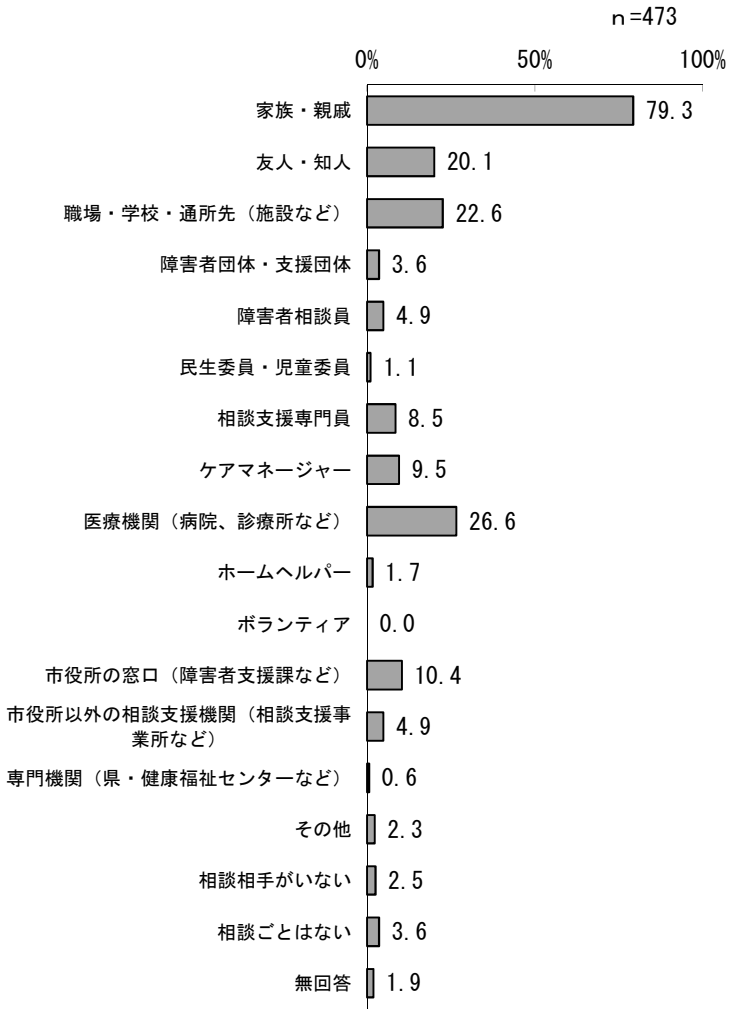
	合計（人）	結婚のこと	緊急時・災害時のこと	話し相手のこと	情報収集のこと	家族・学校・職場などでの人間関係のこと	その他	特にない	無回答
全体	473	2.5	18.8	6.6	7.2	11.0	5.5	26.4	3.6
身体	254	0.4	20.5	2.8	5.1	5.9	4.7	29.1	2.8
知的	166	3.6	23.5	8.4	7.8	11.4	7.8	25.9	6.0
精神	73	5.5	15.1	15.1	12.3	23.3	5.5	19.2	1.4
難病	27	3.7	22.2	7.4	11.1	3.7	18.5	14.8	3.7
発達	68	1.5	20.6	10.3	8.8	25.0	7.4	19.1	2.9
高次	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0

（単位：%）

（５）相談相手・相談先

問 11 あなたが主に相談する人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

相談相手・相談先については、「家族・親戚」が 79.3%で特に多くなっています。それ以外では、「医療機関（病院・診療所など）」（26.6%）、「職場・学校・通所先（施設など）」（22.6%）、「友人・知人」（20.1%）が２割を超えています。



●障害種別

すべての種別で「家族・親戚」が最も多くなっていますが、全体２位の「医療機関（病院、診療所など）」は【精神】・【難病】・【発達】・【高次】で、全体３位の「職場・学校・通所先（施設など）」は【知的】と【発達】で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。相談相手・相談先が異なっていることがわかります。

【身体】と【高次】…「ケアマネージャー」

【知的】と【発達】…「相談支援専門員」

【精神】…「友人・知人」

【難病】…「友人・知人」、「ケアマネージャー」、「ホームヘルパー」、「市役所の窓口（障害者支援課）」

	合計（人）	家族・親戚	友人・知人	職場・学校・通所先（施設など）	障害者団体・支援団体	障害者相談員	民生委員・児童委員	相談支援専門員	ケアマネージャー	医療機関（病院、診療所など）
全体	473	79.3	20.1	22.6	3.6	4.9	1.1	8.5	9.5	26.6
身体	254	81.5	19.3	12.6	2.0	2.8	1.2	6.3	16.5	25.2
知的	166	78.3	15.7	46.4	6.0	8.4	0.6	16.9	6.0	20.5
精神	73	68.5	28.8	15.1	5.5	5.5	0.0	8.2	5.5	56.2
難病	27	85.2	25.9	7.4	11.1	11.1	0.0	0.0	14.8	40.7
発達	68	83.8	19.1	48.5	8.8	7.4	1.5	16.2	4.4	38.2
高次	6	100.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

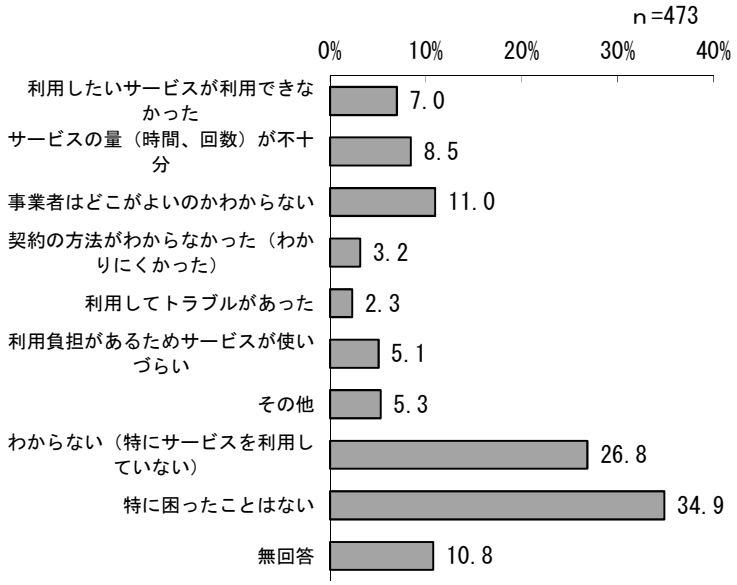
	合計（人）	ホームヘルパー	ボランティア	市役所の窓口（障害者支援課など）	市役所以外の相談支援機関（相談支援事業所など）	専門機関（県・健康福祉センターなど）	その他	相談相手がいない	相談ごとはない	無回答
全体	473	1.7	0.0	10.4	4.9	0.6	2.3	2.5	3.6	1.9
身体	254	1.6	0.0	11.4	2.4	0.8	2.0	3.1	3.1	1.2
知的	166	0.6	0.0	10.8	7.2	0.0	3.0	0.6	4.2	3.6
精神	73	5.5	0.0	11.0	6.8	1.4	5.5	4.1	1.4	0.0
難病	27	7.4	0.0	22.2	0.0	3.7	7.4	3.7	0.0	0.0
発達	68	1.5	0.0	11.8	8.8	1.5	2.9	0.0	1.5	2.9
高次	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：％）

（６）福祉サービスの利用における困りごと

問 12 福祉サービスを利用して、何か不便なことや困ったことはありましたか。（○は３つまで）

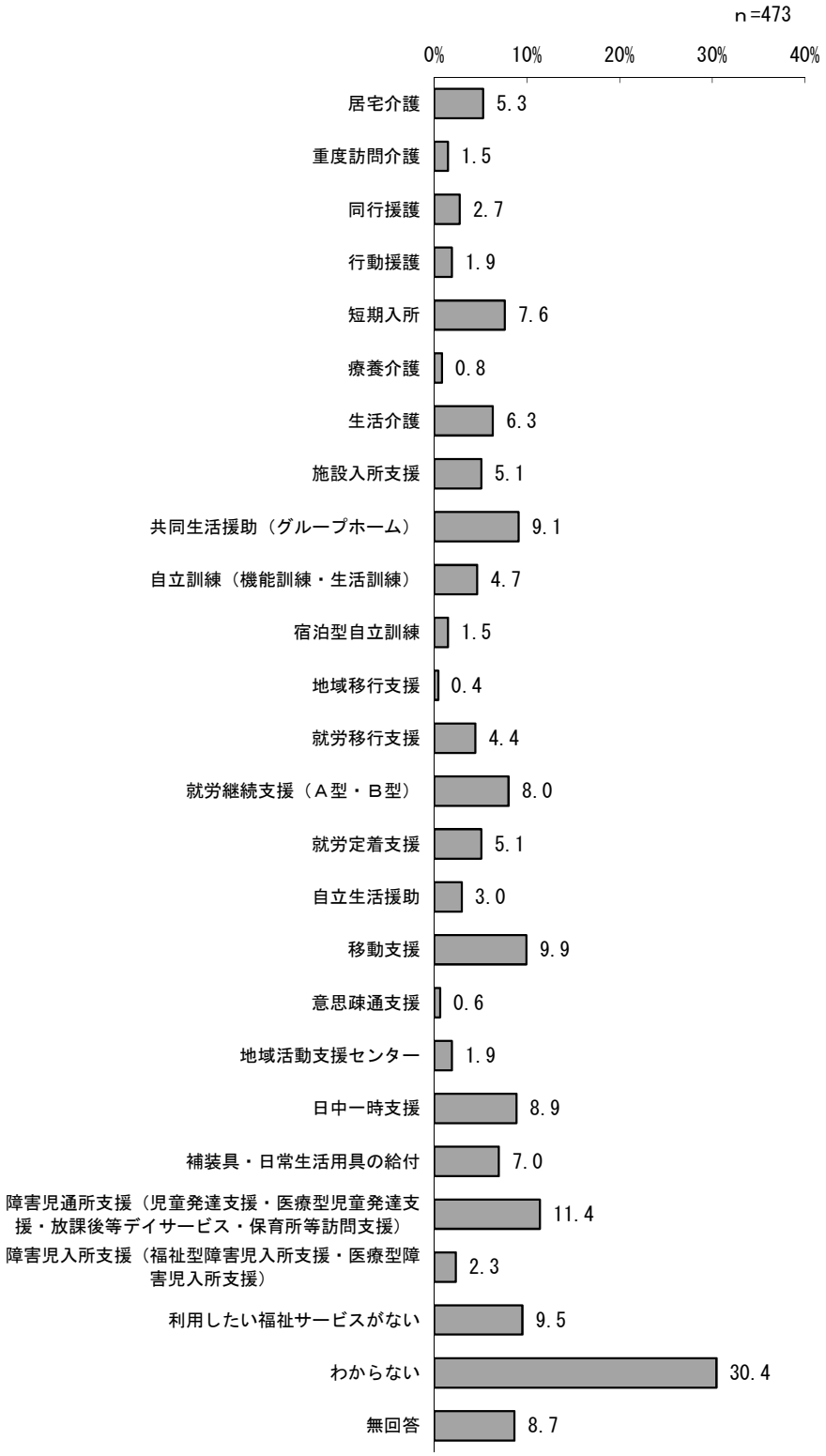
福祉サービスの利用における困りごとについては、「特に困ったことはない」、「わからない（特にサービスを利用していない）」、無回答を除くと、「事業所はどこがよいのかわからない」（11.0%）が最も多くなっています。



（７）今後利用したい福祉サービス

問 13 今後、利用したい福祉サービスはありますか。（○は３つまで）

今後利用したい福祉サービスについては、「わからない」を除くと、「障害児通所支援」（11.4%）が最も多くなっています。



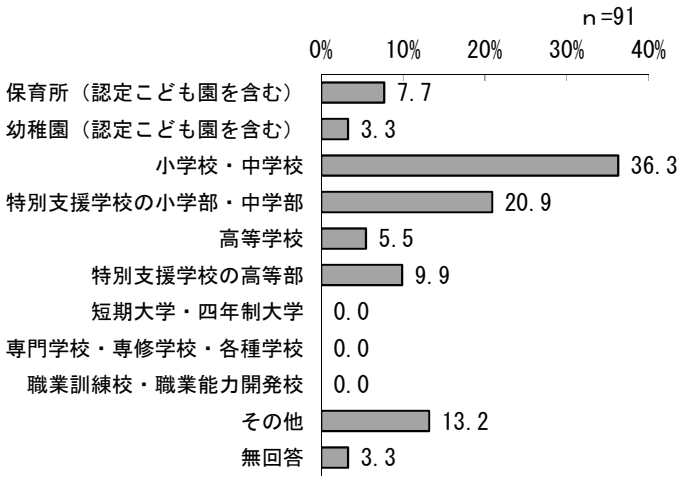
3　障害や病気、発達の不安のある子どもの生活状況について

※問 14～問 20 は問2で「未就学」、「小学生」、「中学生」、「高校生」と回答したご本人及び保護者の方にお聞きしています。

（1）日中過ごしている場所

問 14 お子さんが日中過ごしている場所はどこですか。（１つに○）

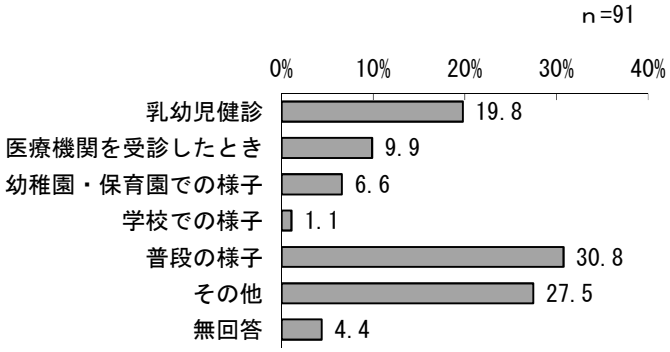
日中過ごしている場所については、「小学校・中学校」が 36.3%で最も多く、次いで「特別支援学校の小学部・中学部」が 20.9%で多くなっています。



（2）障害や発達の不安に気づいたきっかけ

問 15 障害や発達の不安に気づいたきっかけは何ですか。（○は１つ）

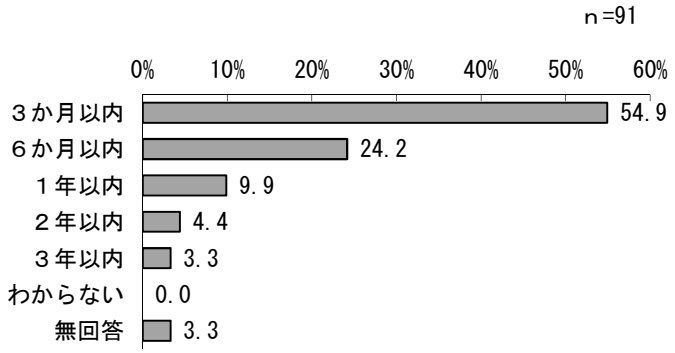
障害や発達の不安に気づいたきっかけについては、「普段の様子」が 30.8%で最も多く、次いで「その他」が 27.5%で多くなっています。なお、「その他」で回答があったうち、最も多かったのは「出生時（出産直後）」でした。



（３）受診・相談するまでにかかった期間

問 16 障害や発達の不安に気づいてから医療機関や専門相談機関に受診・相談するまでどの程度の期間がかかりましたか。（○は１つ）

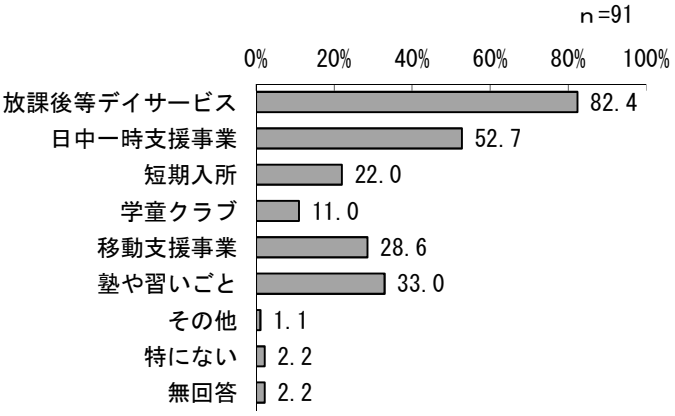
受診・相談するまでにかかった期間については、「３か月以内」が54.9%で最も多く、「６か月以内」が24.2%で続いています。



（４）放課後等の過ごし方の希望

問 17 お子さんが放課後や休みの日に利用したいものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

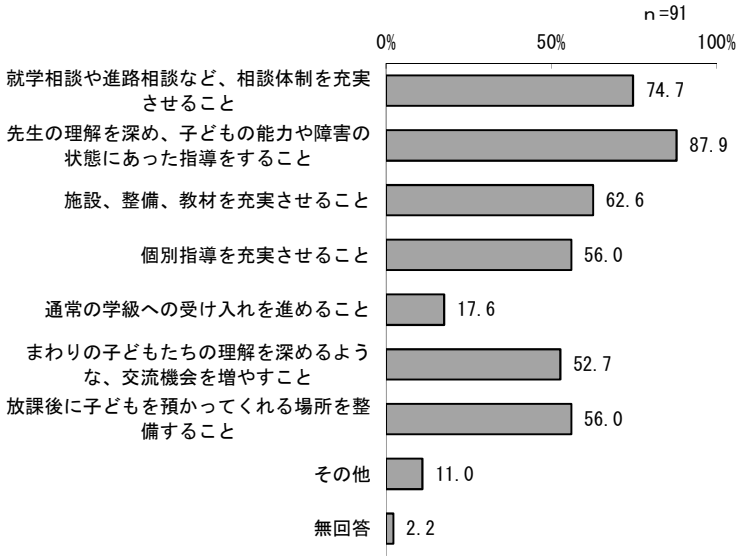
放課後等の過ごし方の希望については、「放課後等デイサービス」が82.4%で最も多く、次いで「日中一時支援事業」が52.7%、「塾や習いごと」が 33.0%で多くなっています。



（５）学ぶための環境について望むこと

問 18 障害のある子どもが学ぶための環境について、どのようなことが望ましいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

学ぶための環境について望むことについては、「先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態にあった指導をすること」（87.9%）が最も多く、「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること」（74.7%）、「施設、整備、教材を充実させること」（62.6%）の順に続いています。



●年齢別（18 歳未満）

小学生では「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること」と「まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流機会を増やすこと」、中学生では「施設、整備、教材を充実させること、「まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流機会を増やすこと」、「個別指導を充実させること」が全体より多くなっています。

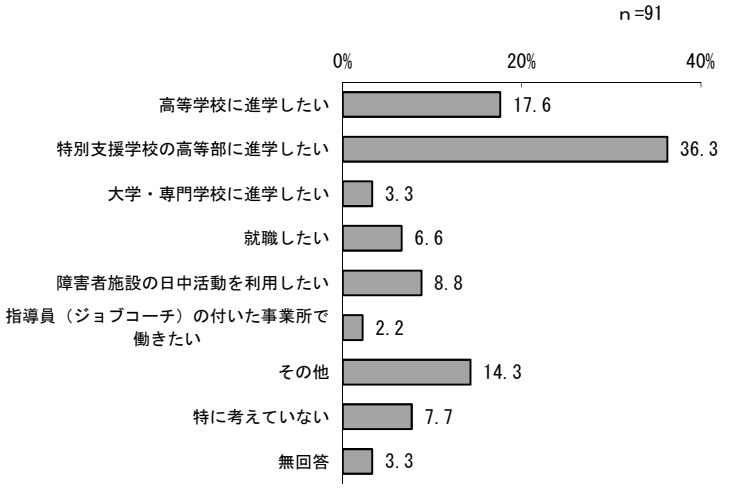
	合計（人）	就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること	先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態にあった指導をすること	施設、整備、教材を充実させること	個別指導を充実させること	通常の学級への受け入れを進めること	まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流機会を増やすこと	放課後に子どもを預かってくれる場所を整備すること	その他	無回答
全体	91	74.7	87.9	62.6	56.0	17.6	52.7	56.0	11.0	2.2
未就学	25	64.0	80.0	64.0	52.0	24.0	36.0	52.0	4.0	8.0
小学生	41	80.5	92.7	58.5	58.5	14.6	63.4	58.5	12.2	0.0
中学生	11	72.7	81.8	90.9	63.6	18.2	81.8	54.5	18.2	0.0
高校生	14	78.6	92.9	50.0	50.0	14.3	28.6	57.1	14.3	0.0

（単位：%）

（６）学校卒業後の進路の希望

問 19 現在の学校を卒業した後の進路について、希望を教えてください。（１つに○）

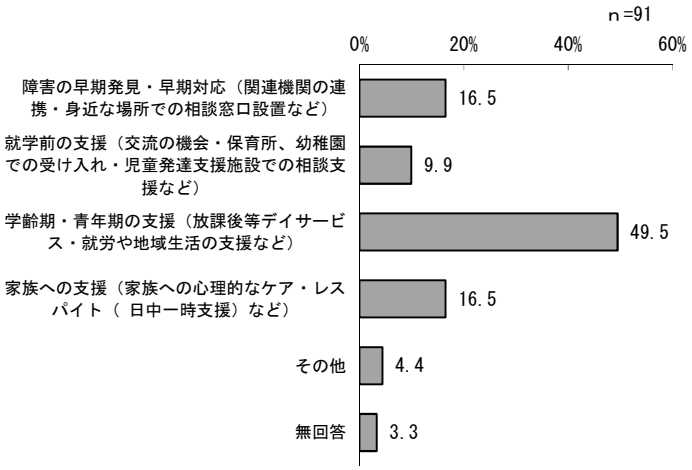
学校卒業後の進路の希望については、「特別支援学校の高等部に進学したい」が 36.3%で最も多く、次いで「高等学校に進学したい」が 17.6%で多くなっています。



（７）充実してほしい子どもの支援

問 20 お子さんの支援を進めるにあたって、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（１つに○）

充実してほしい子どもの支援については、「学齢期・青年期の支援（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）」（49.5%）が半数近くで最も多く、「障害の早期発見・早期対応（関連機関の連携・身近な場所での相談窓口設置など）」と「就学前の支援（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）」（ともに 16.5%）、「家族への支援（家族への心理的なケア・レスパイト（日中一時支援）など）」（9.9%）の順に続いています。



●年齢別（18 歳未満）

未就学では「就学前の支援（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）」が、小学生と中学生では「学齢期・青年期の支援（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）」が、高校生では「家族への支援（家族への心理的なケア・レスパイト（日中一時支援）など）」が全体より多くなっています。

	合計（人）	障害の早期発見・早期対応（関連機関の連携・身近な場所での相談窓口設置など）	就学前の支援（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）	学齢期・青年期の支援（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）	家族への支援（家族への心理的なケア・レスパイト（日中一時支援）など）	その他	無回答
全体	91	16.5	9.9	49.5	16.5	4.4	3.3
未就学	25	20.0	32.0	20.0	16.0	4.0	8.0
小学生	41	14.6	0.0	63.4	12.2	7.3	2.4
中学生	11	9.1	0.0	81.8	9.1	0.0	0.0
高校生	14	21.4	7.1	35.7	35.7	0.0	0.0

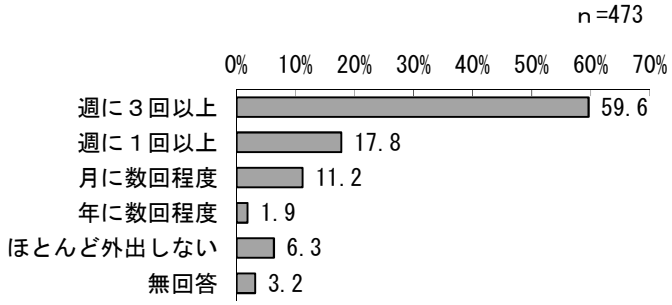
（単位：%）

４　外出・移動支援について

（１）外出の頻度

問 21 あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。（１つに○）

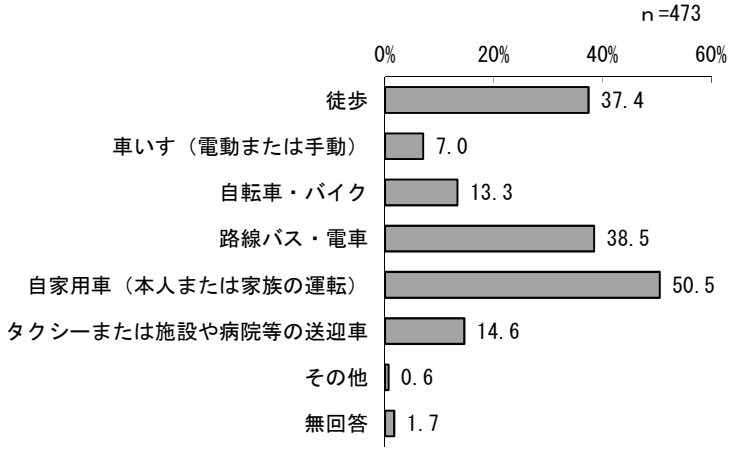
外出の頻度については、「週に３回以上」が 59.6%で最も多くなっています。



（２）主な交通手段

問 22 あなたが外出するときの主な交通手段は、何ですか。（○は２つまで）

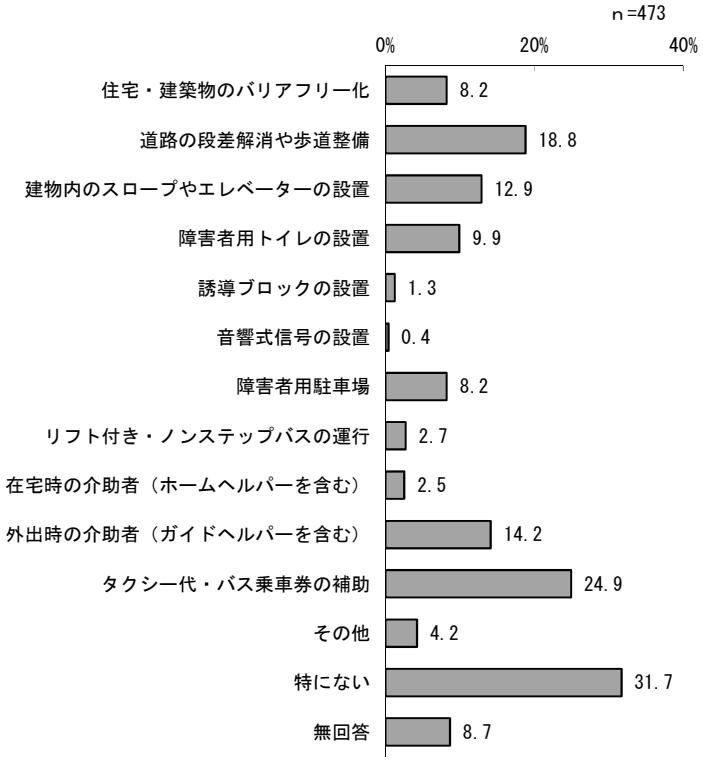
主な交通手段については、「自家用車（本人または家族の運転）」（50.5%）が最も多く、「路線バス・電車」（38.5%）と「徒歩」（37.4%）が3割台で続いています。



（３）外出のために整備または援助が必要なもの

問 23 あなたが外出するために、整備または援助を必要とするものは、何ですか。（○は３つまで）

外出のために整備または援助が必要なものについては、「特にない」を除くと、「タクシー代・バス乗車券の補助」が 24.9%で最も多く、次いで「道路の段差解消や歩道整備」が 18.8%で多くなっています。



●障害種別

種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。整備または援助するものへのニーズの違いがうかがえます。

【身体】…「道路の段差解消や歩道整備」、「障害者用駐車場」

【知的】…「障害者用トイレの設置」、「外出者の介助者（ガイドヘルパーを含む）」

【難病】…「建物内のスロープやエレベーターの設置」、「誘導ブロックの設置」

【発達】…「外出者の介助者（ガイドヘルパーを含む）」

【高次】…「住宅・建築物のバリアフリー化」、「障害者用駐車場」

	合計（人）	住宅・建築物のバリアフリー化	道路の段差解消や歩道整備	建物内のスロープやエレベーターの設置	障害者用トイレの設置	誘導ブロックの設置	音響式信号の設置	障害者用駐車場
全体	473	8.2	18.8	12.9	9.9	1.3	0.4	8.2
身体	254	12.2	26.0	17.3	10.6	2.0	0.8	13.4
知的	166	6.0	12.7	12.7	15.7	0.6	0.0	6.6
精神	73	0.0	6.8	4.1	4.1	1.4	0.0	2.7
難病	27	11.1	18.5	22.2	7.4	7.4	3.7	11.1
発達	68	5.9	17.6	8.8	10.3	0.0	0.0	7.4
高次	6	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7

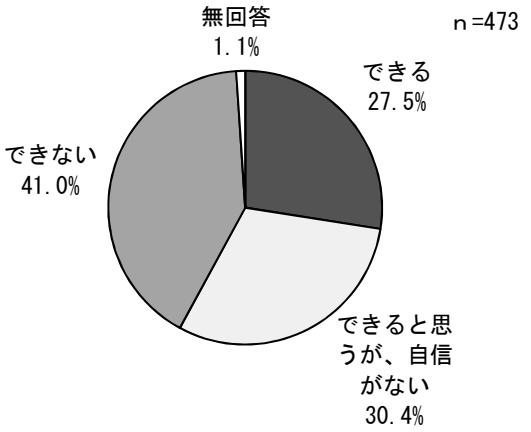
	合計（人）	リフト付き・ノンステップバスの運行	在宅時の介助者（ホームヘルパーを含む）	外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）	タクシー代・バス乗車券の補助	その他	特にない	無回答
全体	473	2.7	2.5	14.2	24.9	4.2	31.7	8.7
身体	254	4.7	4.3	10.6	26.8	5.1	22.4	7.9
知的	166	1.8	1.8	27.1	21.1	4.2	33.1	7.2
精神	73	0.0	4.1	2.7	28.8	1.4	47.9	11.0
難病	27	7.4	3.7	14.8	18.5	11.1	18.5	11.1
発達	68	2.9	0.0	22.1	23.5	1.5	35.3	7.4
高次	6	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7

（単位：%）

（４）災害時における一人での避難

問 24 あなたは、災害時にひとりで避難できますか。（１つに○）

災害時における一人での避難については、「できない」が 41.0%、「できると思うが、自信がない」が 30.4%、「できる」が 27.5%となっています。



●障害種別

【精神】を除くすべての種別で「できない」が最も多く、特に【高次】・【知的】・【発達】では５割を超えて多くなっています。

【精神】では「できると思うが、自信がない」が最も多くなっています。

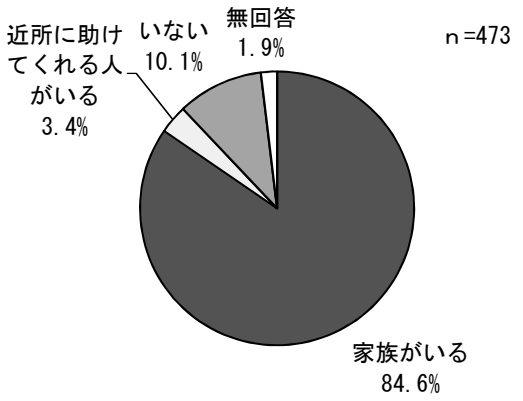
	合計（人）	できる	できると思うが、自信がない	できない	無回答
全体	473	27.5	30.4	41.0	1.1
身体	254	31.5	27.6	39.4	1.6
知的	166	12.0	24.7	62.7	0.6
精神	73	32.9	42.5	24.7	0.0
難病	27	22.2	29.6	40.7	7.4
発達	68	14.7	30.9	54.4	0.0
高次	6	0.0	16.7	83.3	0.0

（単位：%）

（５）助けてくれる人の有無

問 25 あなたは、災害時に助けてくれるひとがいますか。（１つに○）

助けてくれる人の有無については、「家族がいる」が 84.6%、「いない」が 10.1%、「近所に助けてくれる人がいる」が 3.4%となっています。



●障害種別

すべての種別で「家族がいる」が最も多くなっていますが、【精神】では「いない」、【難病】では「近所に助けてくれる人がいる」が全体より多くなっています。

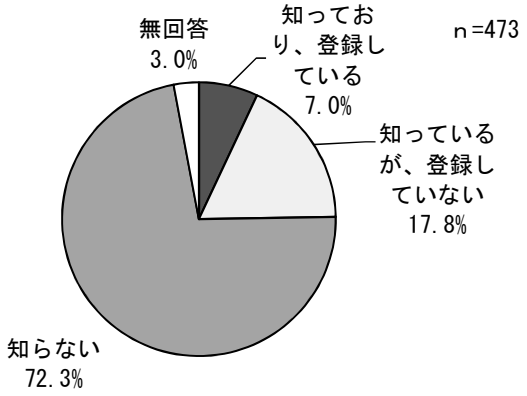
	合計（人）	家族がいる	近所に助けてくれる人がいる	いない	無回答
全体	473	84.6	3.4	10.1	1.9
身体	254	83.5	3.1	11.4	2.0
知的	166	94.6	1.8	2.4	1.2
精神	73	65.8	8.2	24.7	1.4
難病	27	81.5	11.1	7.4	0.0
発達	68	91.2	2.9	4.4	1.5
高次	6	100.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（６）流山市地域支え合い活動事業の認知度

問 26 あなたは、流山市地域支え合い活動事業を知っていますか。（１つに○）

流山市地域支え合い活動事業の認知度については、「知らない」が 72.3%、「知っているが、登録していない」が 17.8%、「知っており、登録している」が 7.0%となっています。

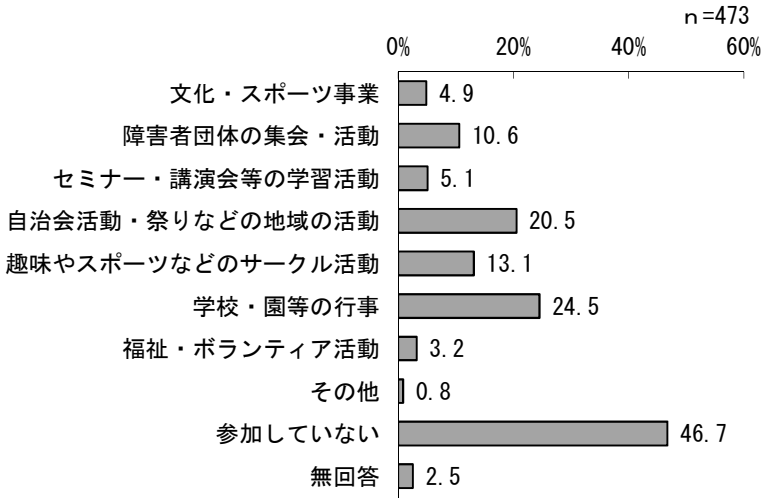


5　社会参加・地域参加について

（1）参加した地域の行事や活動

問 27 最近 1 年間、あなたは、地域の行事や活動に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

参加した地域の行事や活動については、「参加していない」を除くと、「学校・園等の行事」（24.5%）と「自治会活動・祭りなどの地域の活動」（20.5%）が2割を超えて多くなっています。



●障害種別

「学校・園等の行事」は【発達】・【知的】・【難病】で多く、「自治会活動・祭りなどの地域の活動」は【発達】で多くなっています。

それ以外では、【知的】で「障害者団体の集会・活動」、【精神】で「参加していない」が全体より多くなっています。

	合計（人）	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全体	473	4.9	10.6	5.1	20.5	13.1	24.5	3.2	0.8	46.7	2.5
身体	254	7.5	8.7	5.1	18.9	17.3	14.6	3.9	1.6	51.2	3.1
知的	166	4.2	19.3	4.8	22.9	7.8	47.0	1.8	0.0	28.3	2.4
精神	73	2.7	2.7	2.7	11.0	6.8	6.8	2.7	1.4	74.0	4.1
難病	27	3.7	14.8	3.7	22.2	14.8	29.6	3.7	0.0	51.9	3.7
発達	68	2.9	11.8	4.4	33.8	13.2	60.3	1.5	0.0	26.5	0.0
高次	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0

（単位：%）

●地域別

中部で「学校・園等の行事」が全体より多くなっています。

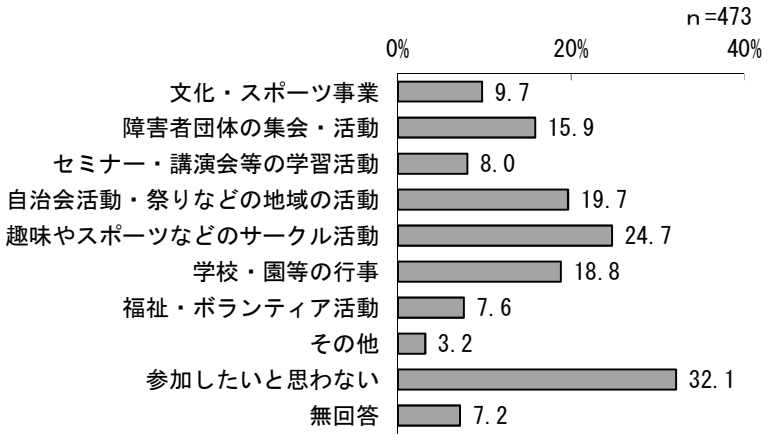
	合計（人）	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全体	473	4.9	10.6	5.1	20.5	13.1	24.5	3.2	0.8	46.7	2.5
北部	121	5.0	9.9	5.0	15.7	11.6	13.2	0.8	1.7	52.9	1.7
中部	135	3.7	5.2	4.4	25.2	13.3	36.3	2.2	0.0	43.7	1.5
南部	126	4.8	15.1	5.6	18.3	13.5	26.2	4.8	1.6	43.7	3.2
東部	84	7.1	11.9	6.0	25.0	14.3	20.2	4.8	0.0	48.8	3.6

（単位：%）

（２）参加したい地域の行事や活動

問 28 今後、あなたは、どのような行事や活動に参加したいですか。（○は３つまで）

参加したい地域の行事や活動については、「参加したいと思わない」を除くと、「趣味やスポーツなどのサークル活動」（24.7%）が最も多く、次いで「自治会活動・祭りなどの地域の活動」（19.7%）、「学校・園等の行事」（18.8%）が多くなっています。



●障害種別

【知的】と【発達】は地域の行事や活動への参加意向が強く、「学校・園等の行事」、「自治会活動・祭りなどの地域の活動」、「障害者団体の集会・活動」が全体より多くなっています。また、【発達】では「趣味やスポーツなどのサークル活動」も多くなっています。

それ以外では、【精神】で「参加したいと思わない」が半数を超えて最も多く、全体と比較しても多くなっています。

	合計（人）	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体	473	9.7	15.9	8.0	19.7	24.7	18.8	7.6	3.2	32.1	7.2
身体	254	9.4	13.0	8.7	19.3	23.2	10.6	7.9	4.3	36.2	7.1
知的	166	12.0	28.3	3.0	25.9	24.7	38.6	5.4	2.4	16.9	8.4
精神	73	8.2	9.6	8.2	9.6	20.5	5.5	12.3	5.5	52.1	4.1
難病	27	14.8	14.8	7.4	18.5	22.2	22.2	7.4	3.7	33.3	11.1
発達	68	11.8	22.1	8.8	26.5	32.4	42.6	8.8	2.9	16.2	2.9
高次	6	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7

（単位：%）

●地域別

北部で「参加したいと思わない」、南部で「趣味やスポーツなどのサークル活動」と「学校・園等の行事」、東部で「文化・スポーツ事業」が全体より多くなっています。

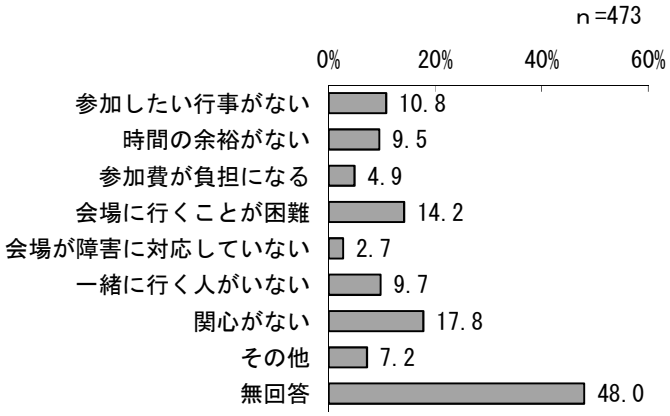
	合計（人）	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体	473	9.7	15.9	8.0	19.7	24.7	18.8	7.6	3.2	32.1	7.2
北部	121	3.3	14.0	6.6	17.4	19.0	10.7	8.3	3.3	39.7	8.3
中部	135	10.4	17.0	8.9	20.7	25.2	23.7	5.9	3.7	29.6	5.2
南部	126	11.1	16.7	7.9	16.7	30.2	24.6	10.3	2.4	29.4	7.1
東部	84	15.5	15.5	8.3	26.2	22.6	14.3	4.8	3.6	31.0	8.3

（単位：%）

（３）参加したいと思わない理由

問 29 参加していない、参加したいと思わない方は、なぜですか。（○は３つまで）

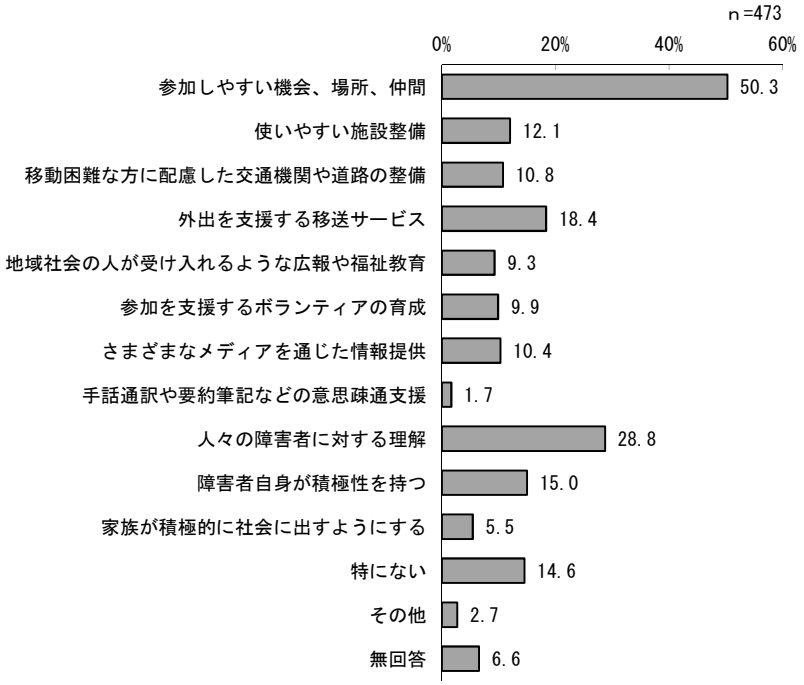
参加したいと思わない理由については、無回答を除くと、「関心がない」（17.8%）が最も多くなっています。



（４）地域や社会に積極的に参加するために大切なこと

問 30 あなたが、地域や社会に積極的に参加できるようにするため、特に大切なことは何ですか。（○は３つまで）

地域や社会に積極的に参加するために大切なことについては、「参加しやすい機会、場所、仲間」（50.3%）が半数を超えて最も多く、次いで「人々の障害者に対する理解」（28.8%）、「外出を支援する移送サービス」（18.4%）が多くなっています。



●障害種別

全体１位の「参加しやすい機会、場所、仲間」はどの種別でも最も多くなっていますが、【知的】では５割を超え、【高次】と【発達】では６割を超えています。

その他、種別ごとの２位及び３位の回答は以下の通りとなります。

【身体】…２位：「外出を支援する移送サービス」、３位：「人々の障害者に対する理解」

【知的】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位：「参加を支援するボランティアの育成」

【精神】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位：「障害者自身が積極性を持つ」

【難病】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位（同率）：「使いやすい施設設備」・「移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備」・「外出を支援する移送サービス」

【発達】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位：「使いやすい施設設備」

【高次】…２位（同率）：「人々の障害者に対する理解」・「障害者自身が積極性を持つ」

	合計（人）	参加しやすい機会、場所、仲間	使いやすい施設整備	移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備	外出を支援する移送サービス	地域社会の人が受け入れるような広報や福祉教育	参加を支援するボランティアの育成	さまざまなメディアを通じた情報提供
全体	473	50.3	12.1	10.8	18.4	9.3	9.9	10.4
身体	254	44.5	13.4	13.8	22.8	6.7	7.1	9.4
知的	166	56.6	11.4	7.8	16.9	16.9	17.5	7.2
精神	73	39.7	9.6	6.8	6.8	8.2	6.8	17.8
難病	27	44.4	22.2	22.2	22.2	14.8	11.1	18.5
発達	68	63.2	19.1	13.2	13.2	13.2	11.8	7.4
高次	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計（人）	手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援	人々の障害者に対する理解	障害者自身が積極性を持つ	家族が積極的に社会に出すようにする	特にない	その他	無回答
全体	473	1.7	28.8	15.0	5.5	14.6	2.7	6.6
身体	254	3.1	21.3	16.5	2.4	15.7	4.3	6.3
知的	166	1.2	41.6	13.9	11.4	10.2	3.0	5.4
精神	73	0.0	32.9	23.3	2.7	21.9	2.7	6.8
難病	27	3.7	25.9	7.4	3.7	0.0	3.7	11.1
発達	68	2.9	54.4	17.6	11.8	4.4	2.9	2.9
高次	6	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7

（単位：%）

●地域別

中部で「人々の障害者に対する理解」が全体より多くなっています。

	合計（人）	参加しやすい機会、場所、仲間	使いやすい施設整備	移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備	外出を支援する移送サービス	地域社会の人が受け入れるような広報や福祉教育	参加を支援するボランティアの育成	さまざまなメディアを通じた情報提供
全体	473	50.3	12.1	10.8	18.4	9.3	9.9	10.4
北部	121	47.1	11.6	9.9	17.4	10.7	10.7	14.9
中部	135	54.8	9.6	12.6	14.8	11.9	8.9	11.9
南部	126	48.4	13.5	11.1	19.8	8.7	11.9	6.3
東部	84	50.0	15.5	9.5	22.6	4.8	7.1	8.3

	合計（人）	手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援	人々の障害者に対する理解	障害者自身が積極性を持つ	家族が積極的に社会に出すようにする	特にない	その他	無回答
全体	473	1.7	28.8	15.0	5.5	14.6	2.7	6.6
北部	121	0.0	19.0	14.9	3.3	16.5	5.0	5.0
中部	135	3.0	42.2	14.8	6.7	13.3	0.7	5.9
南部	126	1.6	26.2	15.1	5.6	12.7	3.2	6.3
東部	84	2.4	27.4	14.3	7.1	17.9	1.2	8.3

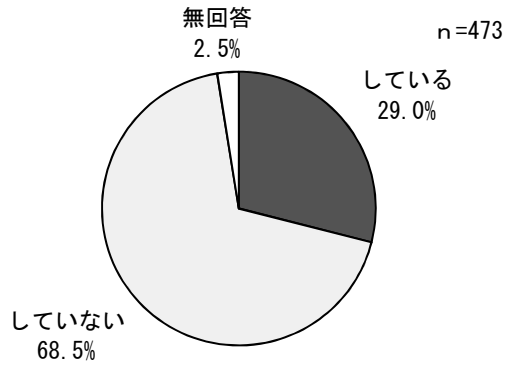
（単位：%）

6　雇用・就業について

（1）就労状況

問 31　あなたは仕事をしていますか。（福祉施設・作業所などでの就労も含む）（１つに○）

就労状況については、「していない」が 68.5%、「している」が 29.0%となっています。



●障害種別

すべての種別で「していない」の方が多くなっていますが、18～39 歳が全体の３割ほどを占める【知的】では（→８ページ参照）、「している」が全体より多くなっています。

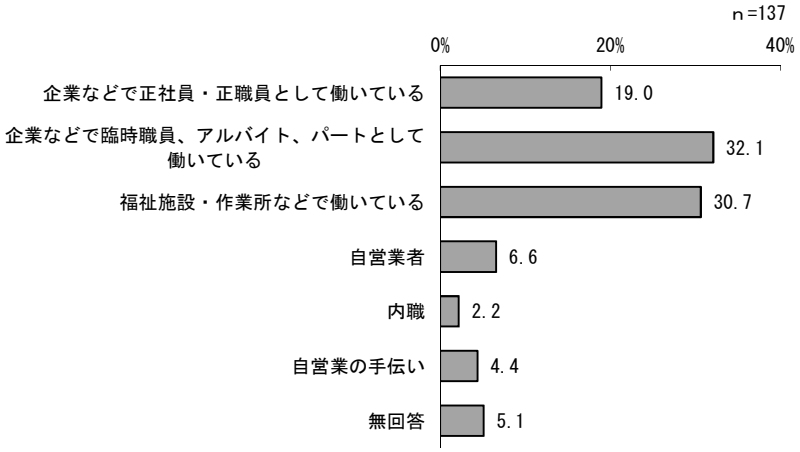
	合計（人）	している	していない	無回答
全体	473	29.0	68.5	2.5
身体	254	19.7	78.0	2.4
知的	166	41.0	56.0	3.0
精神	73	31.5	67.1	1.4
難病	27	18.5	77.8	3.7
発達	68	26.5	73.5	0.0
高次	6	16.7	83.3	0.0

（単位：%）

（２）仕事の形態

問 32 問 31 で「１．している」と回答した方にお聞きします。どこで働いていますか。（１つに○）

「仕事をしている」と回答した人に仕事の形態について聞いたところ、「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」（32.1％）と「福祉施設・作業所などで働いている」（30.7％）が3割を超えて多く、次いで「企業などで正社員・正職員として働いている」（19.0％）が多くなっています。



●障害種別

【身体】と【難病】は「企業などで正社員・正職員として働いている」、【知的】、【発達】【高次】では「福祉施設・作業所などで働いている」、【精神】では「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」が最も多くなっています。

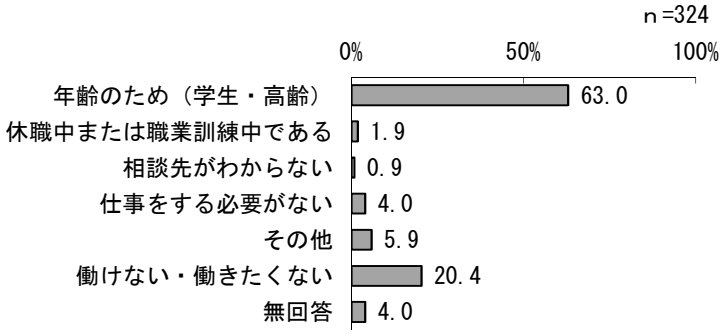
	合計（人）	企業などで正社員・正職員として働いている	企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている	福祉施設・作業所などで働いている	自営業者	内職	自営業の手伝い	無回答
全体	473	19.0	32.1	30.7	6.6	2.2	4.4	5.1
身体	254	28.0	24.0	20.0	14.0	4.0	4.0	6.0
知的	166	10.3	26.5	52.9	0.0	1.5	1.5	7.4
精神	73	13.0	39.1	30.4	4.3	0.0	8.7	4.3
難病	27	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
発達	68	16.7	27.8	44.4	0.0	0.0	5.6	5.6
高次	6	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：％）

（３）就労していない理由

問 33 問 31 で「２．していない」と回答した方は、主にどのような理由になりますか。（１つに○）

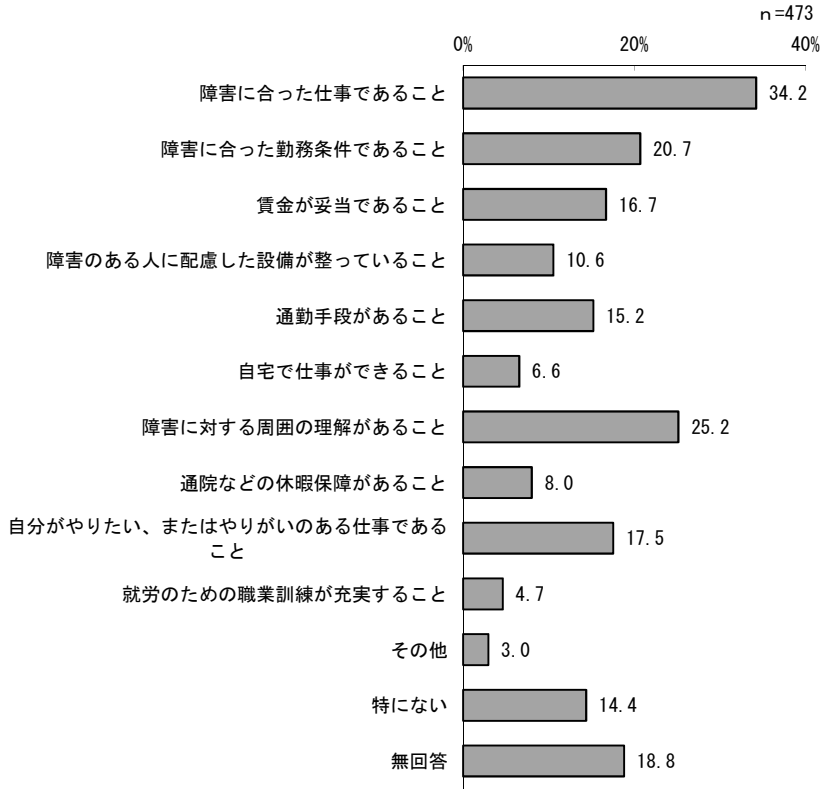
就労していない理由については、「年齢のため（学生・高齢）」が 63.0%で最も多く、次いで「働けない・働きたくない」が 20.4%で多くなっています。



（４）就労する上で必要な条件

問 34 あなたは、働くうえで、どのような条件が必要ですか。（○は３つまで）

就労する上で必要な条件については、「障害に合った仕事であること」が 34.2%で最も多く、次いで「障害に対する周囲の理解があること」が 25.2%、「障害に合った勤務条件であること」が 20.7%で多くなっています。



●障害種別

全体１位の「障害に合った仕事であること」は、【精神】では４割、【知的】と【発達】では５割を超え、多くなっています。

また、全体２位の「障害に対する周囲の理解があること」は【知的】と【発達】で多く、全体３位の「障害に合った勤務条件であること」は【精神】と【難病】で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。

【身体】と【難病】…「特にない」

【知的】…「通勤手段があること」、「障害のある人に配慮した設備が整っていること」

【精神】…「賃金が妥当であること」、「通院などの休暇保障があること」

【発達】…「自分がやりたい、またはやりがいのある仕事であること」、「賃金が妥当であること」、「障害のある人に配慮した設備が整っていること」

【高次】…「通院などの休暇保障があること」

	合計（人）	障害に合った仕事であること	障害に合った勤務条件であること	賃金が妥当であること	障害のある人に配慮した設備が整っていること	通勤手段があること	自宅で仕事ができること	障害に対する周囲の理解があること
全体	473	34.2	20.7	16.7	10.6	15.2	6.6	25.2
身体	254	26.0	19.3	11.4	5.9	7.9	9.4	13.4
知的	166	52.4	22.9	19.3	21.1	22.9	1.8	41.0
精神	73	42.5	32.9	24.7	5.5	15.1	4.1	30.1
難病	27	37.0	37.0	14.8	11.1	11.1	3.7	22.2
発達	68	51.5	23.5	22.1	19.1	19.1	0.0	44.1
高次	6	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7

	合計（人）	通院などの休暇保障があること	自分がやりたい、またはやりがいのある仕事であること	就労のための職業訓練が充実すること	その他	特にない	無回答
全体	473	8.0	17.5	4.7	3.0	14.4	18.8
身体	254	7.5	14.2	2.0	3.5	20.1	26.4
知的	166	4.8	17.5	7.8	1.8	4.8	12.7
精神	73	16.4	20.5	5.5	2.7	12.3	8.2
難病	27	7.4	14.8	0.0	7.4	22.2	14.8
発達	68	2.9	25.0	4.4	4.4	7.4	7.4
高次	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

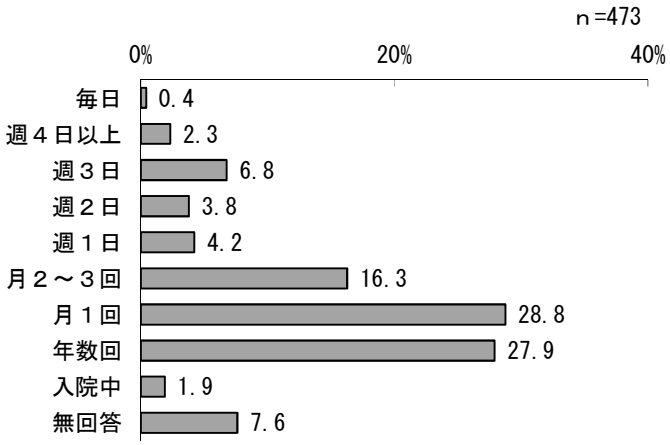
（単位：％）

7　保健・医療について

（１）通院状況

問 35 あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（１つに○）

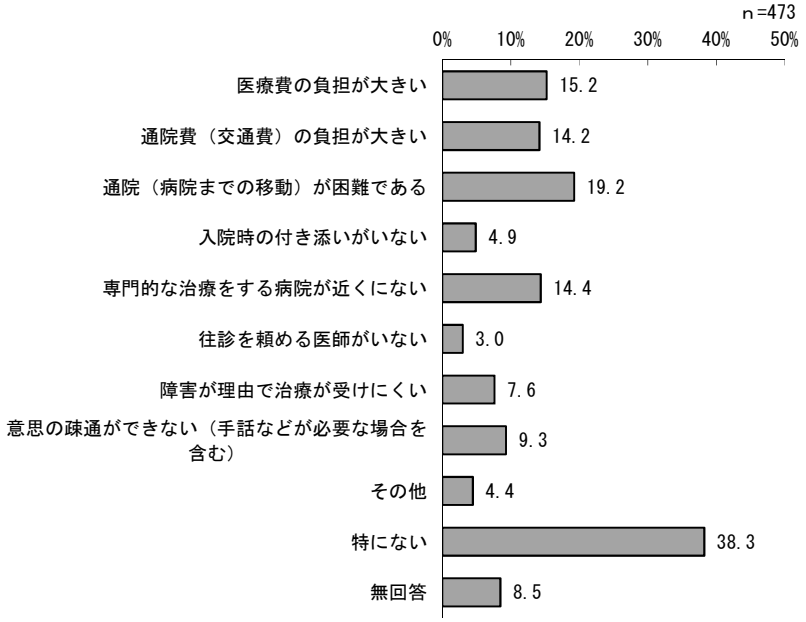
通院状況については、「月１回」（28.8%）と「年数回」（27.9%）が２割台後半で多くなっています。



（２）医療における困りごと

問 36 医療を受けるうえで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

医療における困りごとについては、「特にない」を除くと、「通院（病院までの移動）が困難である」（19.2%）が最も多くなっており、「医療費の負担が大きい」（15.2%）、「専門的な治療をする病院が近くにない」（14.4%）、「通院費（交通費）の負担が大きい」（14.2%）の順で続いています。



●障害種別

種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。

【知的】…「専門的な治療をする病院が近くにない」、「意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）」、「障害が理由で治療が受けにくい」

【精神】…「通院費（交通費）の負担が大きい」

【難病】…「通院費（交通費）の負担が大きい」、「入院時の付き添いがいない」

【発達】…「専門的な治療をする病院が近くにない」、「障害が理由で治療が受けにくい」

【高次】…「通院（病院までの移動）が困難である」

	合計（人）	医療費の負担が大きい	通院費（交通費）の負担が大きい	通院（病院までの移動）が困難である	入院時の付き添いがいない	専門的な治療をする病院が近くにない	往診を頼める医師がいない
全体	473	15.2	14.2	19.2	4.9	14.4	3.0
身体	254	18.9	14.6	21.7	5.1	13.4	3.9
知的	166	7.8	9.6	19.3	6.0	22.3	1.8
精神	73	15.1	21.9	12.3	2.7	11.0	2.7
難病	27	11.1	22.2	18.5	11.1	14.8	3.7
発達	68	11.8	13.2	19.1	8.8	22.1	1.5
高次	6	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

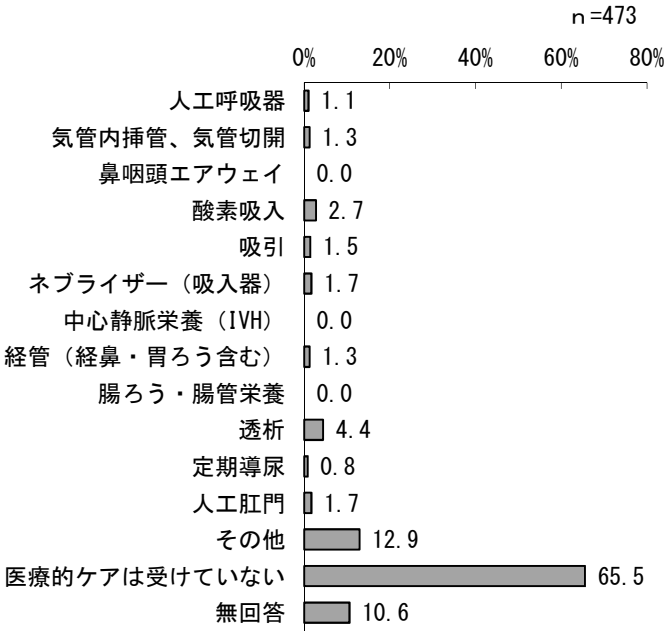
	合計（人）	障害が理由で治療が受けにくい	意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）	その他	特にない	無回答
全体	473	7.6	9.3	4.4	38.3	8.5
身体	254	4.3	5.9	2.8	36.6	9.4
知的	166	15.7	19.9	6.0	33.1	9.6
精神	73	2.7	2.7	6.8	43.8	8.2
難病	27	11.1	3.7	11.1	18.5	11.1
発達	68	16.2	13.2	7.4	38.2	2.9
高次	6	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

（単位：%）

（３）受けている医療的ケア

問 37 あなたはどのような「医療的ケア」を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

受けている医療的ケアについては、「医療的ケアは受けていない」を除くと、「その他」（12.9%）が最も多くなっています。なお、「その他」で回答があったうち、最も多かったのは「薬（服薬、投薬）」でした。



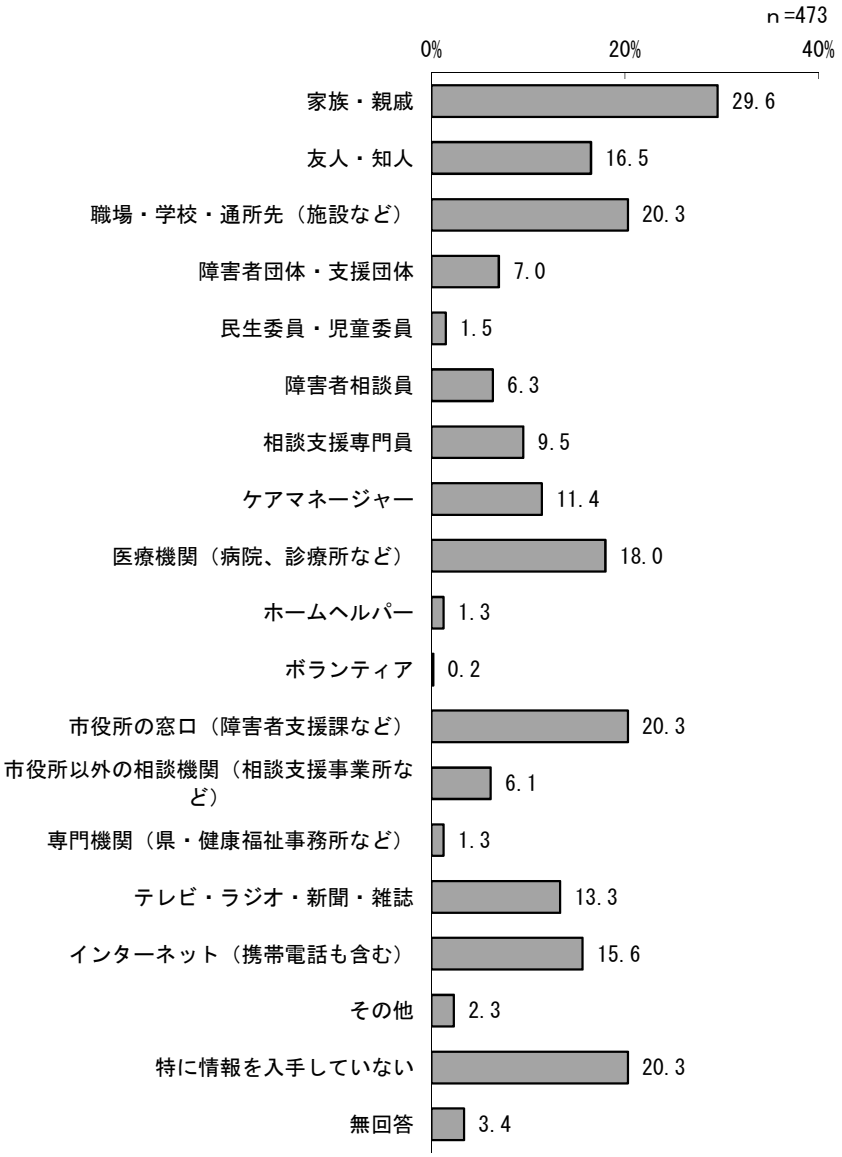
８　情報・コミュニケーションについて

（１）情報の入手先

問 38 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

情報の入手先については、「家族・親戚」が 29.6%で最も多く、次いで「職場・学校・通所先（施設など）」、「市役所の窓口（障害者支援課など）」（どちらも 20.3%）が２割を超えて多くなっています。

また、「特に情報を入手していない」も 20.3%となっています。



●障害種別

全体１位の「家族・親戚」は、【知的】と【発達】では４割程度、【高次】では半数を占め、多くなっています。同様に、全体２位の「職場・学校・通所先（施設など）」も、【知的】・【発達】・【高次】で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多く、特徴がみられるものは以下の通りとなります。相談相手・相談先と、共通点が一部見られます（→19 ページ参照）。

【身体】と【高次】…「ケアマネージャー」

【知的】…「友人・知人」、「相談支援専門員」、「障害者団体・支援団体」、「障害者相談員」

【精神】…「特に情報を入手していない」、「医療機関（病院、診療所など）」

【難病】…「医療機関（病院、診療所など）」、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「インターネット（携帯電話も含む）」、「障害者相談員」

【発達】…「友人・知人」、「インターネット（携帯電話も含む）」、「相談支援専門員」、「障害者団体・支援団体」

	合計（人）	家族・親戚	友人・知人	職場・学校・通所先（施設など）	障害者団体・支援団体	民生委員・児童委員	障害者相談員	相談支援専門員	ケアマネージャー	医療機関（病院、診療所など）	ホームヘルパー
全体	473	29.6	16.5	20.3	7.0	1.5	6.3	9.5	11.4	18.0	1.3
身体	254	26.8	14.6	10.6	5.9	2.8	2.4	5.1	19.3	22.0	1.6
知的	166	43.4	22.3	42.8	12.7	0.0	11.4	19.9	4.2	10.2	0.0
精神	73	17.8	5.5	13.7	5.5	0.0	5.5	8.2	5.5	24.7	4.1
難病	27	29.6	11.1	11.1	7.4	0.0	14.8	3.7	14.8	33.3	7.4
発達	68	39.7	26.5	45.6	14.7	0.0	7.4	17.6	4.4	17.6	1.5
高次	6	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

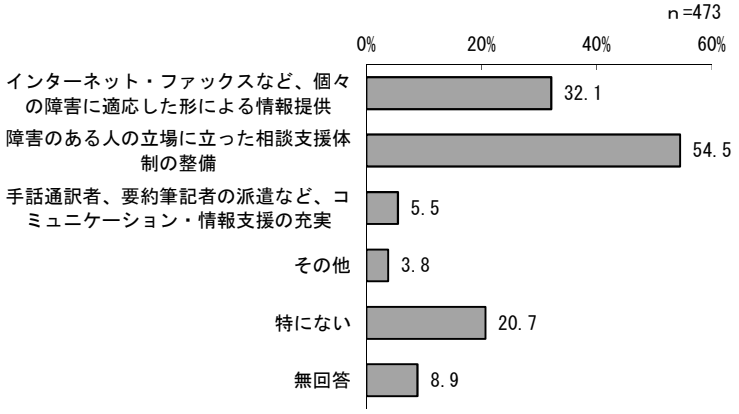
	合計（人）	ボランティア	市役所の窓口（障害者支援課など）	市役所以外の相談機関（相談支援事業所など）	専門機関（県・健康福祉事務所など）	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	インターネット（携帯電話も含む）	その他	特に情報を入手していない	無回答
全体	473	0.2	20.3	6.1	1.3	13.3	15.6	2.3	20.3	3.4
身体	254	0.0	21.3	4.3	1.6	16.5	15.4	2.4	20.1	3.9
知的	166	0.0	21.7	8.4	0.0	4.8	12.7	4.2	11.4	4.8
精神	73	1.4	20.5	9.6	1.4	11.0	19.2	0.0	28.8	5.5
難病	27	0.0	22.2	7.4	3.7	29.6	29.6	7.4	14.8	3.7
発達	68	0.0	20.6	10.3	0.0	2.9	25.0	1.5	10.3	2.9
高次	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（２）情報収集・コミュニケーションに必要なこと

問 39 あなたは、障害のある人の情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか。（○は２つまで）

情報収集・コミュニケーションに必要なことについては、「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」（54.5%）が半数を超えて最も多く、次いで「インターネット・ファックスなど、個々の障害に適応した形による情報提供」（32.1%）が多くなっています。



●障害種別

「特に情報を入手していない」人が全体より少なく、積極的に情報を収集している傾向が見られる【知的】・【発達】・【高次】では（→46 ページ参照）、「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が全体より多い一方、「特に情報を入手していない」人が他の種別に比べて多い【精神】では、「特にない」が全体より多くなっています。

また、【発達】では、「インターネット・ファックスなど、個々の障害に適応した形による情報提供」も全体より多くなっています。

	合計（人）	インターネット・ファックスなど、個々の障害に適応した形による情報提供	障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備	手話通訳者、要約筆記者の派遣など、コミュニケーション・情報支援の充実	その他	特にない	無回答
全体	473	32.1	54.5	5.5	3.8	20.7	8.9
身体	254	28.3	45.7	7.1	4.3	24.8	9.8
知的	166	36.1	69.3	6.0	3.0	10.8	10.2
精神	73	32.9	45.2	1.4	4.1	31.5	8.2
難病	27	33.3	48.1	7.4	7.4	11.1	11.1
発達	68	44.1	79.4	4.4	0.0	8.8	4.4
高次	6	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7

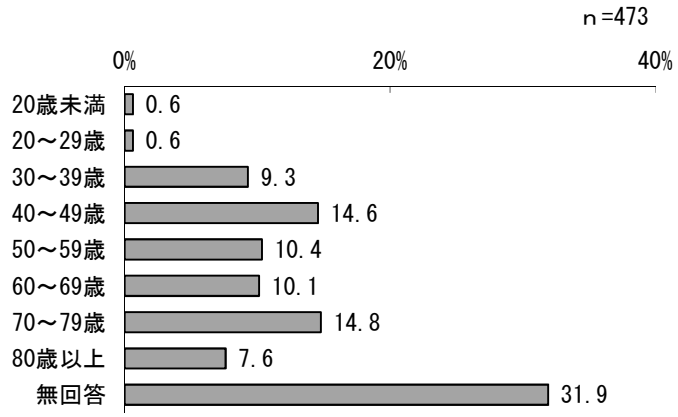
（単位：%）

９　介助者の状況について

（１）介助者の年齢

問 40 あなたの介助者の年齢は、何歳ですか。（令和元年 12 月１日現在）（１つに○）

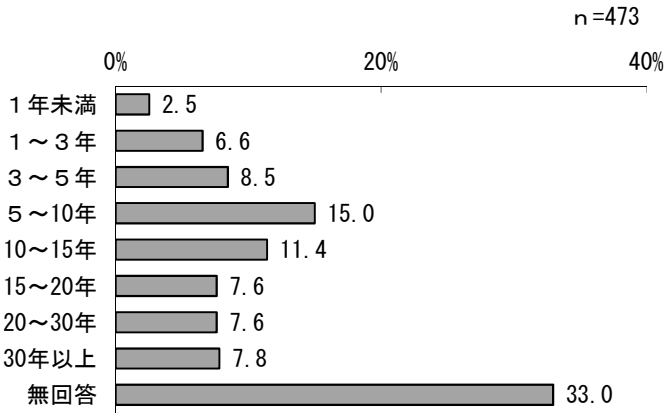
介助者の年齢については、無回答を除くと、「70～79 歳」（14.8%）と「40～49 歳」（14.6%）が多くなっています。



（２）介助している年数

問 41 あなたの介助者は、あなたの介助を始めてどれくらいですか。（１つに○）

介助している年数については、無回答を除くと、「5～10 年」（15.0%）が最も多く、次いで「10～15 年」（11.4%）が多くなっています。

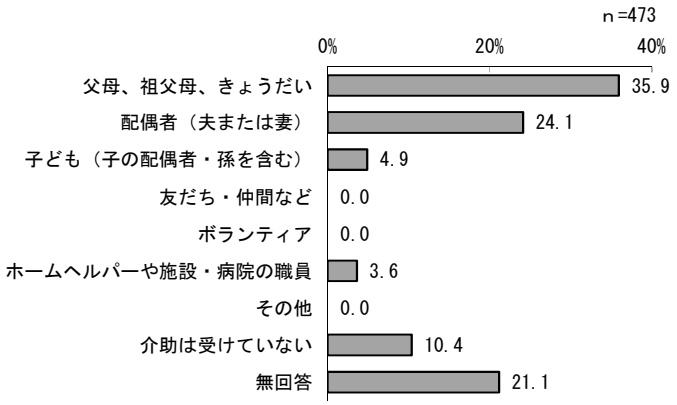


（３）介助をしている人

問 42 普段、あなたを介助しているのは、どなたですか。（１つに○）

介助をしている人については、「父母、祖父母、きょうだい」が 35.9%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 24.1%で多くなっています。

「介助は受けていない」は 10.4%となっています。



●障害種別

【身体】と【難病】では「配偶者（夫または妻）」、【知的】・【発達】・【高次】では「父母、祖父母、きょうだい」が全体より多くなっています。また、【高次】では「子ども（子の配偶者・孫を含む）」も多くなっています。

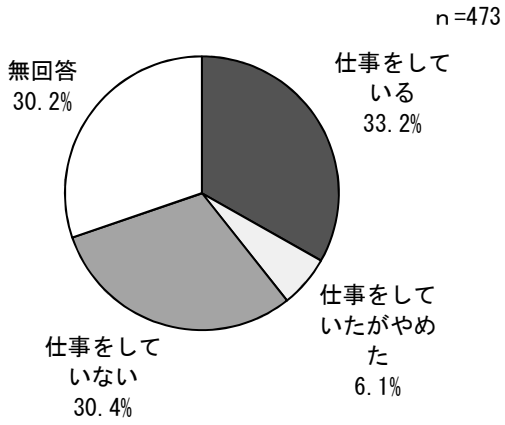
	合計（人）	父母、祖父母、きょうだい	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	友だち・仲間など	ボランティア	ホームヘルパーや施設・病院の職員	その他	介助は受けていない	無回答
全体	473	35.9	24.1	4.9	0.0	0.0	3.6	0.0	10.4	21.1
身体	254	18.1	39.4	7.9	0.0	0.0	4.7	0.0	10.2	19.7
知的	166	74.7	3.6	0.6	0.0	0.0	1.8	0.0	4.8	14.5
精神	73	23.3	16.4	2.7	0.0	0.0	6.8	0.0	13.7	37.0
難病	27	22.2	40.7	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	7.4	18.5
発達	68	70.6	4.4	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	7.4	11.8
高次	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

（４）介助者の就労状況

問 43 主な身の回りの介助をしている方は現在仕事をしていますか。（１つに○）

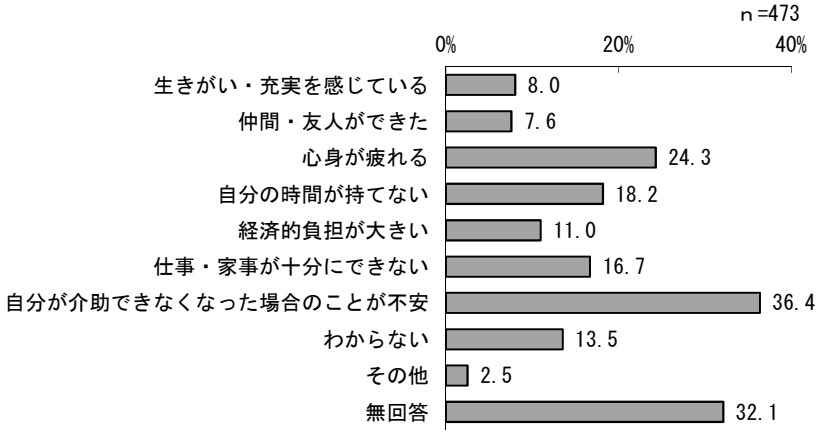
介助者の就労状況については、「仕事をしている」が 33.2%、「仕事をしていない」が 30.4%、「仕事をしていたがやめた」が 6.1%となっています。



（５）介助者が感じていること

問 44 あなたの介助者は、介助についてどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

介助者が感じていることについては、無回答を除くと、「自分が介助できなくなった場合のことが不安」（36.4%）が最も多く、次いで「心身が疲れる」（24.3%）が多くなっています。



●障害種別

「父母、祖父母、きょうだい」が介助をしている割合が大きい【知的】・【発達】・【高次】では（→49 ページ参照）、「心身が疲れる」、「自分の時間が持てない」がそれぞれ３割程度となっており、多くなっています。

その他、【知的】と【発達】では、「自分が介助できなくなった場合のことが不安」と「仕事・家事が十分にできない」が全体より多くなっています。

【難病】では、「仕事・家事が十分にできない」と「経済的負担が大きい」が全体より多くなっています。

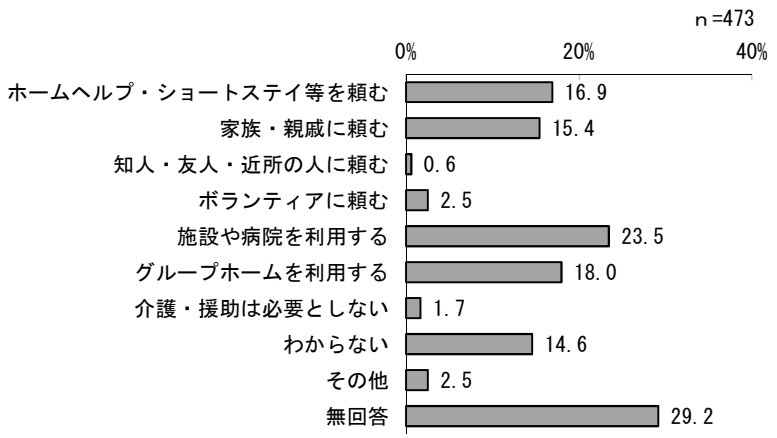
	合計（人）	生きがい・充実を感じている	仲間・友人ができた	心身が疲れる	自分の時間が持てない	経済的負担が大きい	仕事・家事が十分にできない	自分が介助できなくなった場合のことが不安	わからない	その他	無回答
全体	473	8.0	7.6	24.3	18.2	11.0	16.7	36.4	13.5	2.5	32.1
身体	254	5.5	5.9	22.4	16.5	8.3	14.6	31.1	16.9	4.3	31.5
知的	166	9.6	15.7	33.1	27.1	14.5	27.1	62.0	9.0	0.0	19.9
精神	73	5.5	2.7	13.7	6.8	13.7	8.2	15.1	19.2	1.4	47.9
難病	27	7.4	0.0	14.8	22.2	18.5	22.2	33.3	14.8	7.4	22.2
発達	68	8.8	17.6	35.3	30.9	14.7	29.4	54.4	10.3	0.0	19.1
高次	6	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0

（単位：%）

（６）介助ができなくなった場合の希望

問 45 あなたの介助者が、あなたの介助をできなくなった場合、どのようにしたいですか。（○は２つまで）

介助者が感じていることについては、無回答を除くと、「施設や病院を利用する」（23.5%）が最も多く、「グループホームを利用する」（18.0%）、「ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む」（16.9%）、「家族・親戚に頼む」（15.4%）の順に続いています。



●障害種別

「施設や病院を利用する」は【難病】と【高次】で、「グループホームを利用する」は【知的】と【発達】で、「家族・親戚に頼む」は【難病】・【発達】・【高次】で全体より多くなっています。

	合計（人）	ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む	家族・親戚に頼む	知人・友人・近所の人に頼む	ボランティアに頼む	施設や病院を利用する	グループホームを利用する	介護・援助は必要としない	わからない	その他	無回答
全体	473	16.9	15.4	0.6	2.5	23.5	18.0	1.7	14.6	2.5	29.2
身体	254	20.1	17.3	0.0	2.8	28.0	7.9	1.2	14.6	3.1	27.6
知的	166	20.5	18.1	1.2	3.0	21.7	44.6	0.6	13.9	3.6	17.5
精神	73	5.5	6.8	1.4	0.0	16.4	8.2	2.7	17.8	1.4	46.6
難病	27	18.5	25.9	0.0	3.7	33.3	11.1	3.7	7.4	7.4	18.5
発達	68	19.1	23.5	1.5	1.5	22.1	30.9	0.0	22.1	2.9	16.2
高次	6	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0

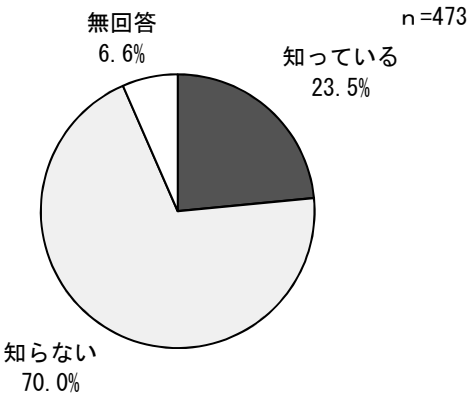
（単位：%）

10　権利擁護について

（１）障害者差別解消法の認知度

問 46 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。（○は１つ）

障害者差別解消法の認知度については、「知らない」が 70.0%、「知っている」が 23.5%となっています。

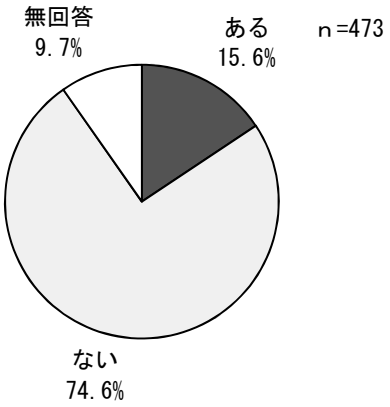


（２）障害を理由とした差別の経験

①障害を理由とした差別の経験の有無

問 47 この法律では、障害を理由として、正当な理由なくサービスを拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような「不当な差別的取扱い」を禁止していますが、これまでに差別を受けたり、見たり聞いたりしたことはありますか。（１つに○）

障害を理由とした差別等の経験の有無については、「ない」が 74.6%、「ある」が 15.6%となっています。



●障害種別

すべての種別で「ない」の方が多くなっていますが、【知的】・【難病】・【発達】では「ある」が全体より多くなっています。

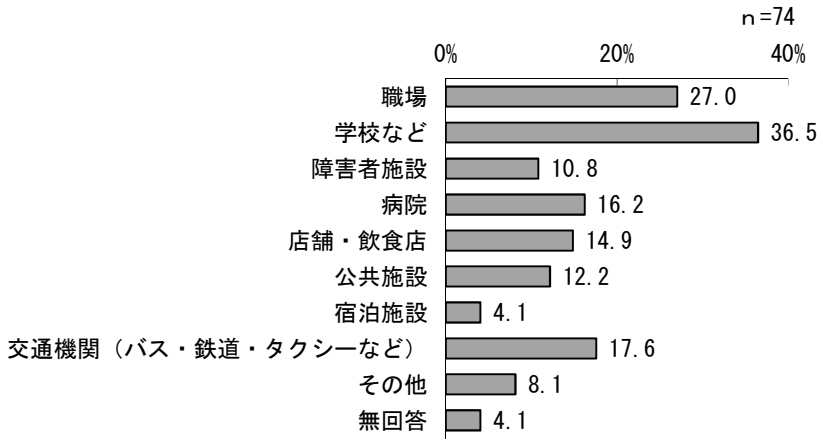
	合計（人）	ある	ない	無回答
全体	473	15.6	74.6	9.7
身体	254	10.6	80.3	9.1
知的	166	22.9	65.7	11.4
精神	73	17.8	76.7	5.5
難病	27	29.6	63.0	7.4
発達	68	26.5	66.2	7.4
高次	6	0.0	83.3	16.7

（単位：%）

②差別を経験した場所

問 48 問 47 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。どこで、誰から、どのようなことでしたか（あてはまるものすべてに○）
【どこで】

「ある」と回答した人に差別を経験した場所について聞いたところ、「学校など」（36.5%）が最も多く、次いで「職場」（27.0%）が多くなっています。



●障害種別

全体１位の「学校など」は若い年齢層の多い【知的】と【発達】で（→8ページ参照）、全体２位の「職場」は働き盛りの世代が多い【精神】で特に多くなっています。

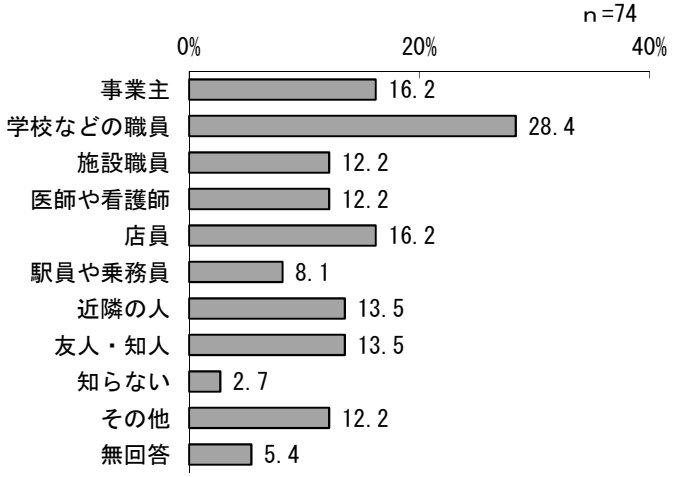
	合計（人）	職場	学校など	障害者施設	病院	店舗・飲食店	公共施設	宿泊施設	交通機関（バス・鉄道・タクシーなど）	その他	無回答
全体	74	27.0	36.5	10.8	16.2	14.9	12.2	4.1	17.6	8.1	4.1
身体	27	29.6	25.9	11.1	18.5	3.7	7.4	0.0	22.2	3.7	11.1
知的	38	15.8	47.4	15.8	10.5	21.1	15.8	5.3	13.2	13.2	0.0
精神	13	53.8	0.0	7.7	23.1	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	7.7
難病	8	12.5	25.0	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
発達	18	5.6	44.4	5.6	16.7	16.7	5.6	0.0	5.6	22.2	5.6
高次	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

③差別を経験した相手

問 48 問 47 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。どこで、誰から、どのようなことでしたか（あてはまるものすべてに○）
【誰から】

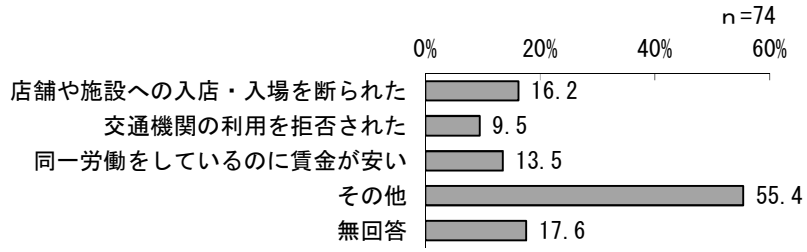
「ある」と回答した人に差別を経験した相手について聞いたところ、「学校などの職員」（28.4%）が3割近くで最も多く、「事業主」と「店員」（ともに 16.2%）の順で続いています。



④経験した差別の内容

問 48 問 47 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。どこで、誰から、どのようなことでしたか（あてはまるものすべてに○）
【どのようなこと】

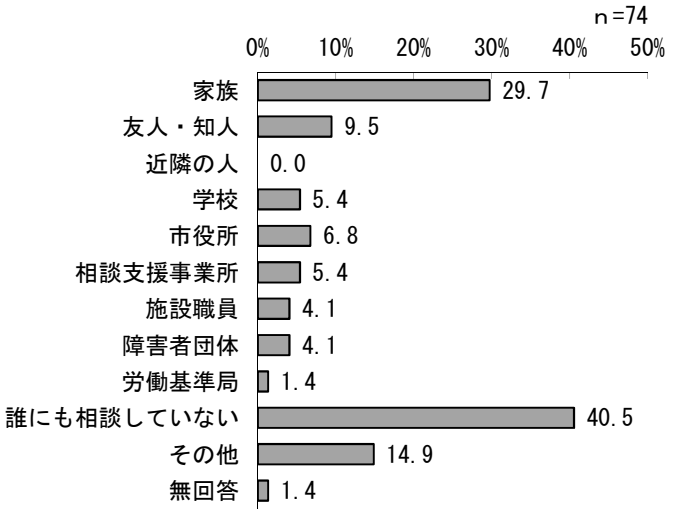
「ある」と回答した人に経験した差別の内容について聞いたところ、「その他」（55.4%）が半数を超えて最も多くなっています。「その他」で回答があったうち、最も多かったのは「入園・入学にあたって不利益な取り扱いを受けた（保育園への入園を断られた、希望通りの学校に入学できなかった等）」でした。



⑤差別についての相談先

問 49 問 47 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。誰にまたはどんなところに相談しましたか。（○は２つまで）

「ある」と回答した人に差別についての相談先について聞いたところ、「誰にも相談していない」を除くと、「家族」（29.7%）が最も多くなっています。

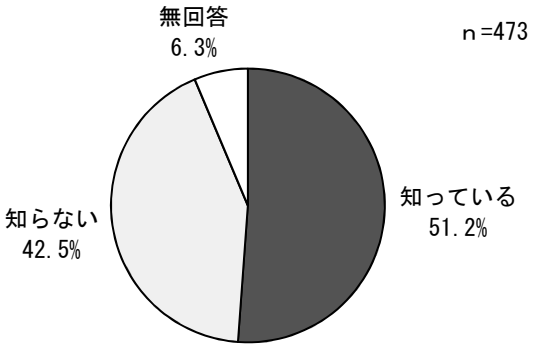


11　成年後見制度について

（１）成年後見制度の認知度

問 50 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（１つに○）

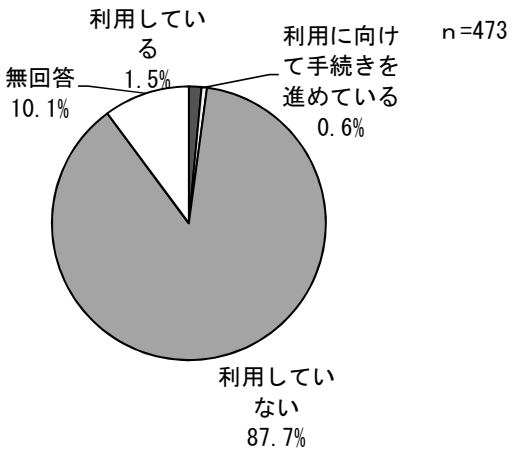
成年後見制度の認知度については、「知っている」が 51.2%、「知らない」が 42.5%となっています。



（２）成年後見制度の利用状況

問 51 あなたは、成年後見制度を利用していますか。（１つに○）

成年後見制度の利用状況については、「利用していない」が 87.7%、「利用している」が 1.5%、「利用に向けて手続きを進めている」が 0.6%となっています。

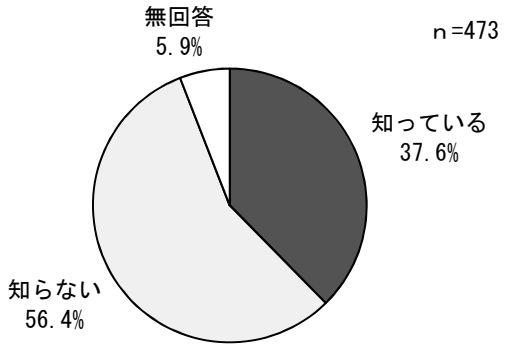


12　障害者虐待防止法について

（１）障害者虐待防止法の認知度

問 52 あなたは、障害者虐待防止法を知っていますか。（１つに○）

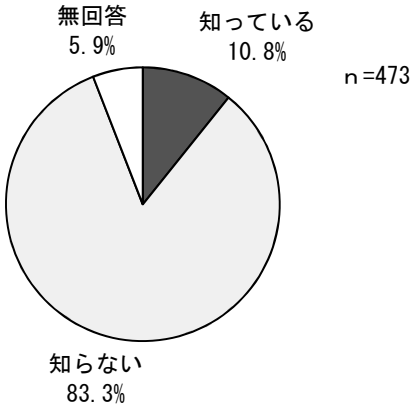
成年後見制度の認知度については、「知らない」が 56.4%、「知っている」が 37.6%となっています。



（２）障害者虐待防止センターの認知度

問 53 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。（１つに○）

障害者虐待防止センターの認知度については、「知らない」が 83.3%、「知っている」が 10.8%となっています。

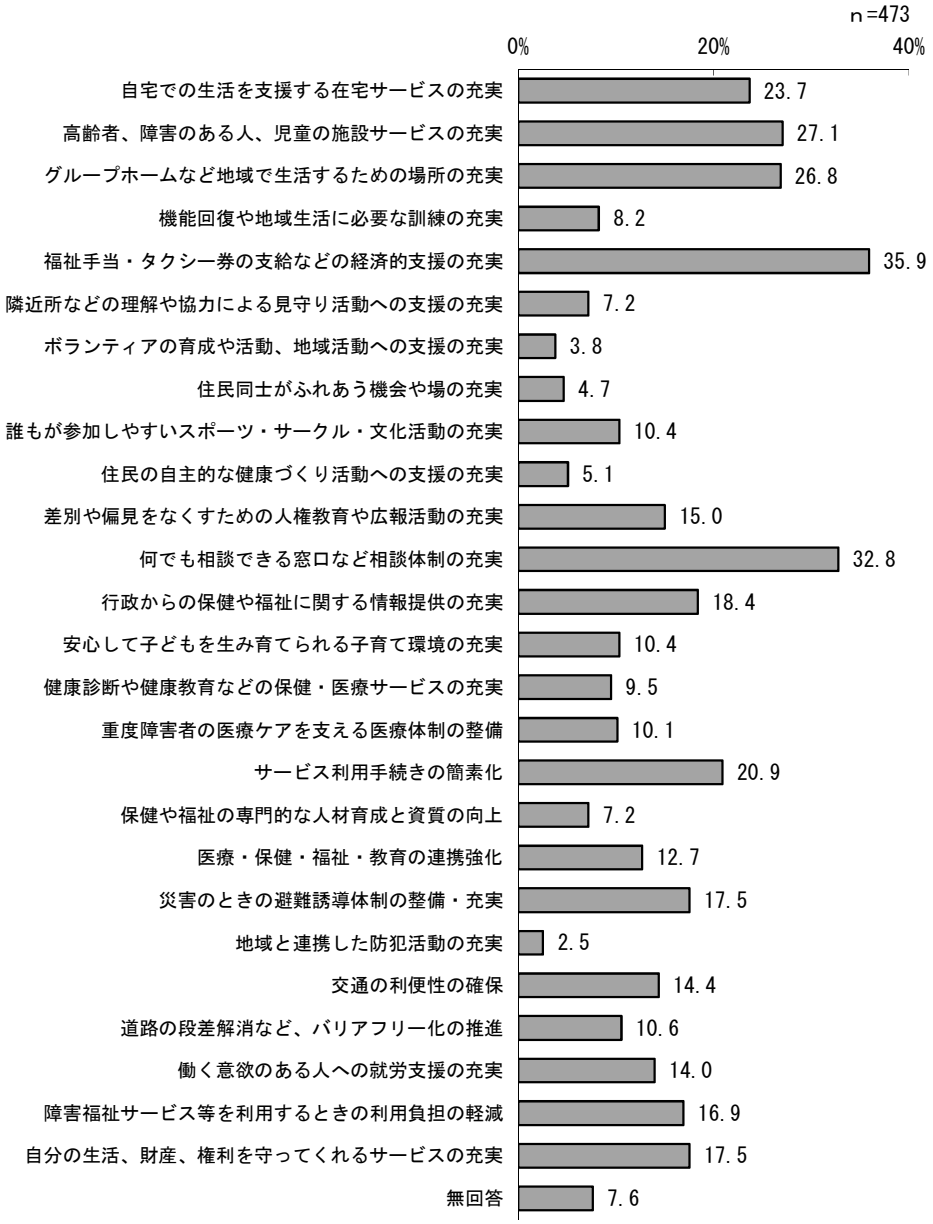


13　今後の施策の重要度について

（１）重要だと思う施策

問 54 流山市の福祉施策について、あなたが重要と思う施策はどれですか。（○は５つまで）

重要だと思う施策については、「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」（35.9%）と「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」（32.8%）が3割を超えて多く、次いで「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」（27.1%）と「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」（26.8%）が2割台後半で多くなっています。



●障害種別

全体１位の「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」は、【難病】では半数を超えて多くなっています。同様に、全体２位の「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」も、【精神】と【発達】で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。本人の年齢（→８ページ参照）や障害特性により、違いが出ています。

【身体】…

「自宅での生活を支援する在宅サービスの充実」
「重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備」

【知的】…

「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」
「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」
「自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実」
「医療・保健・福祉・教育の連携強化」

【精神】…

「自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実」
「働く意欲のある人への就労支援の充実」
「差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実」
「健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実」

【難病】…

「災害のときの避難誘導体制の整備・充実」
「障害福祉サービス等を利用するときの利用負担の軽減」
「行政からの保健や福祉に関する情報提供の充実」
「重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備」
「道路の段差解消など、バリアフリー化の推進」
「住民同士がふれあう機会や場の充実」

【発達】…

「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」
「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」
「自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実」
「働く意欲のある人への就労支援の充実」
「差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実」
「医療・保健・福祉・教育の連携強化」
「安心して子どもを生み育てられる子育て環境の充実」
「保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上」

【高次】…

「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」
「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」
「住民の自主的な健康づくり活動への支援の充実」
「行政からの保健や福祉に関する情報提供の充実」
「重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備」
「誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実」
「保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上」
「道路の段差解消など、バリアフリー化の推進」

	合計（人）	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実	グループホームなど地域で生活するための場所の充実	機能回復や地域生活に必要な訓練の充実	福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実	隣近所などの理解や協力による見守り活動への支援の充実	ボランティアの育成や活動、地域活動への支援の充実	住民同士がふれあう機会や場の充実	誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実
全体	473	23.7	27.1	26.8	8.2	35.9	7.2	3.8	4.7	10.4
身体	254	30.7	22.4	14.2	11.8	38.6	6.7	3.9	5.5	8.7
知的	166	12.0	41.6	52.4	7.8	27.1	9.0	4.8	3.6	11.4
精神	73	24.7	16.4	17.8	5.5	38.4	6.8	1.4	5.5	6.8
難病	27	25.9	18.5	22.2	0.0	51.9	11.1	7.4	11.1	11.1
発達	68	10.3	47.1	36.8	10.3	29.4	7.4	4.4	4.4	8.8
高次	6	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

	合計（人）	住民の自主的な健康づくり活動への支援の充実	差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実	何でも相談できる窓口など相談体制の充実	行政からの保健や福祉に関する情報提供の充実	安心して子どもを生み育てられる子育て環境の充実	健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実	重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備	サービス利用手続きの簡素化	保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上
全体	473	5.1	15.0	32.8	18.4	10.4	9.5	10.1	20.9	7.2
身体	254	5.9	9.4	28.7	21.3	9.1	9.4	15.4	16.9	5.9
知的	166	1.2	19.3	31.3	14.5	11.4	7.8	11.4	25.3	10.8
精神	73	6.8	20.5	41.1	15.1	8.2	16.4	6.8	20.5	6.8
難病	27	7.4	3.7	33.3	29.6	7.4	3.7	22.2	18.5	0.0
発達	68	5.9	22.1	38.2	10.3	19.1	8.8	7.4	22.1	16.2
高次	6	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7

（単位：％）

	合計（人）	医療・保健・福祉・教育の連携強化	災害のときの避難誘導体制の整備・充実	地域と連携した防犯活動の充実	交通の利便性の確保	道路の段差解消など、バリアフリー化の推進	働く意欲のある人への就労支援の充実	障害福祉サービス等を利用するときの利用負担の軽減	自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実	無回答
全体	473	12.7	17.5	2.5	14.4	10.6	14.0	16.9	17.5	7.6
身体	254	11.0	19.7	2.4	16.1	14.2	9.1	16.5	11.0	8.3
知的	166	19.9	16.9	1.8	11.4	6.6	15.1	19.3	29.5	5.4
精神	73	4.1	13.7	1.4	12.3	4.1	21.9	13.7	23.3	6.8
難病	27	14.8	33.3	0.0	0.0	18.5	7.4	33.3	7.4	3.7
発達	68	22.1	13.2	0.0	11.8	5.9	23.5	20.6	32.4	4.4
高次	6	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0

（単位：%）

14 自由意見

問 55 障害者（児）施策全般について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

自由意見については、149 人の方から延べ 201 件の回答が得られました。分類結果及び主な意見は以下の通りです。

内容	件数
サービス	**40**
親亡き後や高齢化に対するサービスや支援の整備・充実	10
障害者施設(通所施設・入所施設)の充実	8
サービスの充実	5
家族への支援の充実	4
移動支援の充実	3
交流の場の充実	3
スポーツや余暇活動の場の充実	3
子育てに対する支援の充実	2
医療的ケアについて	1
短期入所やレスパイト、預かりの場の充実	1
療育・保育・教育	**32**
卒業後の居場所の充実	8
教員の質の向上/教員に対する教育	5
教育の充実	4
特別支援学校の充実	4
特別支援学級の充実	3
療育施設の整備・充実	3
教育の無償化	1
継続した支援について	1
サービスの利用基準の見直し	1
保育施設の充実	1
送迎保育ステーションについて	1
経済的支援	**23**
交通費の補助・割引	8
医療費の負担の軽減	5
経済的支援の充実	3
サービス・施設利用の費用について	2
手当の充実、要件の見直し	2
その他料金等の軽減・免除	1
年金の充実・増額	1
住居に対する経済的援助	1
情報・相談	**23**
情報提供の充実	16
相談体制の充実/相談しやすい環境づくり	7

行政の制度・施策	**15**
障害者施策の充実	7
福祉施策全般の充実	3
介護保険制度について	3
子育て施策の充実	1
高齢者施策の充実	1
障害への理解等	**8**
理解の促進、教育	8
インフラ・設備・交通	**8**
交通手段・交通機関の充実	4
駅やトイレ、建物、バスのバリアフリー化	1
外出しやすい街づくり	1
道路の整備	1
駐車場・駐輪場の増加・充実	1
支援者・事業者	**7**
職員の質の向上	3
人材確保・育成	3
事業所について	1
医療・健康	**6**
障害専門の医療機関の充実	5
医療機関の充実	1
防災	**5**
災害時の避難について	2
災害時の医療の充実	2
異常気象へ迅速な対応を	1
行政の対応	**5**
職員の対応の改善	3
職員の知識、スキルの向上	2
行政の手続き	**4**
事務手続きの簡略化/手続きを迅速に	3
手続き場所を便利な場所に/手続きの土日対応	1
就労	**4**
就労支援の充実	2
就労の場・就労機会の充実	2
権利擁護	**1**
成年後見制度について	1
アンケートについて	**4**
内容や量について	**3**
封筒について	1
その他	**16**
合計	**201**

付属資料

流山市障害福祉計画アンケート調査票

【アンケート調査ご協力のお願い】

流山市の福祉行政の推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

流山市では、現在、障害者の基本的な計画として、令和３年度から始まる「第６次障害者計画」及び「第６期障害福祉計画」、「第２期障害児福祉計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、障害者の皆様の実情やニーズを把握したり、市民の皆様の障害者施策へのご意見を新しい計画に反映させるために実施いたします。

皆様には、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、計画策定以外には使用いたしませんので、ありのままをご回答ください。

令和元年１２月

流山市長　井崎　義治

★ご記入にあたってのお願い

ア．このアンケートは、宛名のご本人のことを「あなた」としています。できるだけ宛名のご本人（あなた）がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方に代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってお答えください。

イ．選択肢のあてはまる番号を○で囲むか、意見をご記入ください。

ウ．○をつけるときは、１つまたは（　）内に指定した数の範囲内でお答えください。

エ．質問によっては、回答していただく方が限定される場合があります。矢印や案内に沿ってお答えください。

オ．「その他」を選んだときは、その内容をできるかぎり（　）内に具体的にご記入ください。

☆調査票の返送について

ご記入後は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、令和２年１月１０日（金）までにポストに入れてください。

☆お問い合わせ先　流山市役所　障害者支援課

ＴＥＬ　０４－７１５０－６０８１（直通）

ＦＡＸ　０４－７１５８－２７２７

Ｅメール：　shougaishien@city.nagareyama.chiba.jp

はじめにうかがいます。このアンケートに回答していただけるのは、どなたですか。（１つに○）

１．ご本人　　２．ご家族　　３．施設職員　　４．その他（　　）

１　基礎的事項

問１　あなたの性別はどちらですか。（１つに○）

１．男性　　２．女性　　３．答えたくない

問２　あなたの年齢は、何歳ですか。（令和元年12月１日現在）（１つに○）

１．未就学　　２．小学生　　３．中学生　　４．高校生 ５．18～29歳　　６．30～39歳　　７．40～49歳　　８．50～59歳 ９．60～69歳　　１０．70～79歳　　１１．80歳以上

問３　あなたがお住まいの地域はどちらですか。（１つに○）

北部	１．東深井	２．こうのす台	３．美原１～４丁目	４．富士見台１～２丁目
	５．富士見台	６．江戸川台東１～４丁目	７．中野久木	８．小屋
	９．深井新田	１０．江戸川台西１～４丁目	１１．平方	１２．南
	１３．平方村新田	１４．上新宿新田	１５．西深井	１６．北
中部	１７．若葉台	１８．上貝塚	１９．駒木台	２０．東初石１～４丁目
	２１．桐ケ谷	２２．大畔	２３．美田	２４．西初石１～５丁目
	２５．谷	２６．上新宿	２７．下花輪	２８．青田
	２９．駒木	３０．おおたかの森北一～三丁目	３１．おおたかの森東一～四丁目	
	３２．おおたかの森南一～三丁目	３３．おおたかの森西一～四丁目		
南部	３４．三輪野山	３５．三輪野山一～五丁目	３６．流山１～９丁目	３７．西平井
	３８．西平井一～三丁目	３９．流山	４０．加一～六丁目	４１．加
	４２．平和台１～５丁目	４３．鰭ケ崎	４４．鰭ケ崎二丁目	４５．市野谷
	４６．南流山１～８丁目	４７．木		
東部	４８．宮園１～３丁目	４９．古間木	５０．野々下１～６丁目	５１．名都借
	５２．思井	５３．思井一丁目	５４．前平井	５５．長崎１～２丁目
	５６．前ケ崎	５７．中	５８．後平井	５９．松ケ丘１～６丁目
	６０．向小金１～４丁目	６１．芝崎	６２．西松ケ丘１丁目	

問４　あなたの障害や難病の状況についておたずねします。（以下の①～⑧の項目ごとに該当する数字を○で囲んでください。）

手帳等の種類	内容
①身体障害者手帳の等級　⇒	1．1級　2．2級　3．3級　4．4級 5．5級　6．6級　7．持っていない ↓ ①－1　身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。 手帳に記されている障害をお答えください。（あてはまるものすべてに○） 1．視覚障害 2．聴覚障害、平衡機能障害 3．音声・言語機能障害、そしゃく機能障害 4．肢体不自由 5．内部障害 〔心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓〕
②療育手帳の等級　⇒	1．Ⓐ（最重度）　2．A（重度）　3．Bの1（中度） 4．Bの2（軽度）　5．持っていない
③精神障害者保健福祉手帳　⇒	1．1級　2．2級　3．3級　4．持っていない
④自立支援医療の受給　⇒	1．受けている　2．受けていない
⑤重度心身障害者医療費助成　⇒	1．受けている　2．受けていない
⑥難病（特定疾患）認定　⇒	1．受けている　2．受けていない
⑦発達障害と診断　⇒	1．診断された　2．診断されていない
⑧高次脳機能障害と診断　⇒	1．診断された　2．診断されていない

問５　あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。（１つに○）

1．受けている　　2．受けていない ⇒ 問７へ

問６　問５「1．受けている」と回答した方にお聞きします。あなたの要介護度はいくつですか。（1つに○）

1．要支援（1・2）　2．要介護1　3．要介護2　4．要介護3
5．要介護4　6．要介護5　7．非該当

2　生活の状況

問7　あなたと一緒に暮らしているひとは、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1．父母、祖父母、きょうだい	2．配偶者（夫または妻）
3．子ども（子の配偶者・孫を含む）	4．1～3を除く親族
5．友だち・仲間など	6．一人で暮らしている
7．施設・寮などで共同生活	8．病院に入院
9．その他（　　）	

問8　あなたは、どこで暮らしていますか。（1つに○）

1．持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）	2．賃貸住宅・寮など（グループホームなど以外）
3．入所施設	4．病院（1年以上の長期入院）
5．グループホーム・生活ホーム	6．その他（　　）

問9　あなたの生活を支えている主な収入は何ですか。（1つに○）

1．勤め先の給料・賃金	2．通所施設・作業所などの工賃
3．家族の給与・親戚などの援助	4．自己資産
5．年金・特別障害者手当など	6．生活保護費
7．その他（　　）	

問10　現在、あなたは、悩んでいることや、誰かに相談したいことがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1．自分の健康・病気の治療のこと	2．経済や生活費のこと
3．介助・介護のこと	4．家事（炊事・掃除・洗濯など）のこと
5．住まいのこと	6．外出・移動のこと
7．就学・進学のこと	8．仕事や就職のこと
9．結婚のこと	10．緊急時・災害時のこと
11．話し相手のこと	12．情報収集のこと
13．家族・学校・職場などでの人間関係のこと	14．その他（　　）
15．特にない	

問11　あなたが主に相談する人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族・親戚	2．友人・知人	3．職場・学校・通所先（施設など）
4．障害者団体・支援団体	5．障害者相談員	6．民生委員・児童委員
7．相談支援専門員	8．ケアマネージャー	9．医療機関（病院、診療所など）
10．ホームヘルパー	11．ボランティア	12．市役所の窓口（障害者支援課など）
13．市役所以外の相談支援機関（相談支援事業所など）		14．専門機関（県・健康福祉センターなど）
15．その他（　　）		16．相談相手がいない
17．相談ごとはない		

問12　福祉サービスを利用して、何か不便なことや困ったことはありましたか。（○は３つまで）

1．利用したいサービスが利用できなかった	2．サービスの量（時間、回数）が不十分
3．事業者はどこがよいのかわからない	4．契約の方法がわからなかった（わかりにくかった）
5．利用してトラブルがあった	6．利用負担があるためサービスが使いづらい
7．その他（　　）	8．わからない（特にサービスを利用していない）
9．特に困ったことはない	

問13　今後、利用したい福祉サービスはありますか。（○は３つまで）

1．居宅介護	2．重度訪問介護	3．同行援護	4．行動援護
5．短期入所	6．療養介護	7．生活介護	8．施設入所支援
9．共同生活援助（グループホーム）		10．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	
11．宿泊型自立訓練		12．地域移行支援	
13．就労移行支援		14．就労継続支援（A型・B型）	
15．就労定着支援		16．自立生活援助	
17．移動支援		18．意思疎通支援	
19．地域活動支援センター		20．日中一時支援	
21．補装具・日常生活用具の給付			
22．障害児通所支援 （児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）			
23．障害児入所支援（福祉型障害児入所支援・医療型障害児入所支援）			
24．利用したい福祉サービスがない			
25．わからない			

3　お子さんの生活状況

問14～問20は、問２で１．～４．とお答えの障害や発達に不安のあるお子さんの保護者の方にお聞きします。

問14　お子さんが日中過ごしている場所はどこですか。（1つに○）

１．保育所（認定こども園を含む）	２．幼稚園（認定こども園を含む）
３．小学校・中学校	４．特別支援学校の小学部・中学部
５．高等学校	６．特別支援学校の高等部
７．短期大学・四年制大学	８．専門学校・専修学校・各種学校
９．職業訓練校・職業能力開発校	10．その他（　　）

問15　障害や発達の不安に気づいたきっかけは何ですか。（１つに○）

１．乳幼児健診	２．医療機関を受診したとき	３．幼稚園・保育園での様子
４．学校での様子	５．普段の様子	６．その他（　　）

問16　障害や発達の不安に気づいてから医療機関や専門相談機関に受診・相談するまでどの程度の期間がかかりましたか。（１つに○）

１．３か月以内	２．６か月以内	３．１年以内
４．２年以内	５．３年以内	６．わからない

問17　お子さんが放課後や休みの日に利用したいものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

１．放課後等デイサービス	２．日中一時支援事業	３．短期入所	４．学童クラブ
５．移動支援事業	６．塾や習いごと	７．その他（　　）	８．特にない

問18　障害のある子どもが学ぶための環境について、どのようなことが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること
２．先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態にあった指導をすること
３．施設、整備、教材を充実させること
４．個別指導を充実させること
５．通常の学級への受け入れを進めること
６．まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流機会を増やすこと
７．放課後に子どもを預かってくれる場所を整備すること
８．その他（　　）

問19　現在の学校を卒業した後の進路について、希望を教えてください。（１つに○）

１．高等学校に進学したい	２．特別支援学校の高等部に進学したい
３．大学・専門学校に進学したい	４．就職したい
５．障害者施設の日中活動を利用したい	６．指導員（ジョブコーチ）のついた事業所で働きたい
７．その他（　　）	８．特に考えていない

問20　お子さんの支援を進めるにあたって、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（１つに○）

１．障害の早期発見・早期対応
（関連機関の連携・身近な場所での相談窓口設置など）

２．就学前の支援
（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）

３．学齢期・青年期の支援
（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）

４．家族への支援
（家族への心理的なケア・レスパイト（日中一時支援）など）

５．その他（　　）

4　外出・移動支援

問21　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。（１つに○）

1．週に3回以上	2．週に1回以上	3．月に数回程度
4．年に数回程度	5．ほとんど外出しない	

問22　あなたが外出するときの主な交通手段は、何ですか。（○は２つまで）

1．徒歩	2．車いす（電動または手動）	3．自転車・バイク
4．路線バス・電車	5．自家用車（本人または家族の運転）	6．タクシーまたは施設や病院等の送迎車
7．その他（　　）		

問23　あなたが外出するために、整備または援助を必要とするものは、何ですか。（○は３つまで）

1．住宅・建築物のバリアフリー化	2．道路の段差解消や歩道整備
3．建物内のスロープやエレベーターの設置	4．障害者用トイレの設置
5．誘導ブロックの設置	6．音響式信号の設置
7．障害者用駐車場	8．リフト付き・ノンステップバスの運行
9．在宅時の介助者（ホームヘルパーを含む）	10．外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）
11．タクシー代・バス乗車券の補助	12．その他（　　）
13．特にない	

問24　あなたは、災害時にひとりで避難できますか。（１つに○）

1．できる	2．できると思うが、自信がない	3．できない

問25　あなたは、災害時に助けてくれるひとがいますか。（１つに○）

1．家族がいる	2．近所に助けてくれる人がいる	3．いない

問26　あなたは、流山市地域支え合い活動事業を知っていますか。（１つに○）

1．知っており、登録している	2．知っているが、登録していない	3．知らない

5　社会参加・地域参加

問27　最近１年間、あなたは、地域の行事や活動に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1．文化・スポーツ事業
2．障害者団体の集会・活動
3．セミナー・講演会等の学習活動
4．自治会活動・祭りなどの地域の活動
5．趣味やスポーツなどのサークル活動
6．学校・園等の行事
7．福祉・ボランティア活動
8．その他（　　）
9．参加していない

問28　今後、あなたは、どのような行事や活動に参加したいですか。（○は３つまで）

1．文化・スポーツ事業
2．障害者団体の集会・活動
3．セミナー・講演会等の学習活動
4．自治会活動・祭りなどの地域の活動
5．趣味やスポーツなどのサークル活動
6．学校・園等の行事
7．福祉・ボランティア活動
8．その他（　　）
9．参加したいと思わない

問29　参加していない、参加したいと思わない方は、なぜですか。（○は３つまで）

1．参加したい行事がない
2．時間の余裕がない
3．参加費が負担になる
4．会場に行くことが困難
5．会場が障害に対応していない
6．一緒に行く人がいない
7．関心がない
8．その他（　　）

問30　あなたが、地域や社会に積極的に参加できるようにするため、特に大切なことは何ですか。

（○は3つまで）

1．参加しやすい機会、場所、仲間
2．使いやすい施設整備
3．移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備
4．外出を支援する移送サービス
5．地域社会の人が受け入れるような広報や福祉教育
6．参加を支援するボランティアの育成
7．さまざまなメディアを通じた情報提供
8．手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援
9．人々の障害者に対する理解
10．障害者自身が積極性を持つ
11．家族が積極的に社会に出すようにする
12．特にない
13．その他（　　）

6　雇用・就業

問31　あなたは仕事をしていますか。（福祉施設・作業所などでの就労も含む）（１つに○）

1．している	2．していない　⇒　問33へ

問32　問31で「1．している」と回答した方にお聞きします。どこで働いていますか。
（１つに○）

1．企業などで正社員・正職員として働いている
2．企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている
3．福祉施設・作業所などで働いている
4．自営業者
5．内職・自営業の手伝い
6．その他（　　）

問33　問31で「2．していない」と回答した方は、主にどのような理由になりますか。（１つに○）

1．年齢のため（学生・高齢）	2．休職中または職業訓練中である
3．相談先がわからない	4．仕事をする必要がない
5．その他（　　）	6．働けない・働きたくない

問34　あなたは、働くうえで、どのような条件が必要ですか。（○は３つまで）

1．障害に合った仕事であること	2．障害に合った勤務条件であること
3．賃金が妥当であること	4．障害のある人に配慮した設備が整っていること
5．通勤手段があること	6．自宅で仕事ができること
7．障害に対する周囲の理解があること	8．通院などの休暇保障があること
9．自分がやりたい、またはやりがいのある仕事であること	10．就労のための職業訓練が充実すること
11．その他（　　）	12．特にない

7　保健・医療

問35　あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（１つに○）

1．毎日	2．週４日以上	3．週３日	4．週２日
5．週１日	6．月2～3回	7．月1回	8．年数回
9．入院中			

問36　医療を受けるうえで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．医療費の負担が大きい	2．通院費（交通費）の負担が大きい
3．通院（病院までの移動）が困難である	4．入院時の付き添いがいない
5．専門的な治療をする病院が近くにない	6．往診を頼める医師がいない
7．障害が理由で治療が受けにくい	8．意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）
9．その他（　　）	10．特にない

問37　あなたはどのような「医療的ケア」を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．人工呼吸器	2．気管内挿管、気管切開	3．鼻咽頭エアウェイ
4．酸素吸入	5．吸引	6．ネブライザー（吸入器）
7．中心静脈栄養（IVH）	8．経管（経鼻・胃ろう含む）	
9．腸ろう・腸管栄養	10．透析	11．定期導尿
12．人工肛門		
13．その他（　　）		
14．医療的ケアは受けていない		

8　情報・コミュニケーション

問38　あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族・親戚	2．友人・知人	3．職場・学校・通所先（施設など）
4．障害者団体・支援団体	5．民生委員・児童委員	6．障害者相談員
7．相談支援専門員	8．ケアマネージャー	9．医療機関（病院、診療所など）
10．ホームヘルパー	11．ボランティア	12．市役所の窓口（障害者支援課など）
13．市役所以外の相談機関（相談支援事業所など）		14．専門機関（県・健康福祉事務所など）
15．テレビ・ラジオ・新聞・雑誌		16．インターネット（携帯電話も含む）
17．その他（　　）		18．特に情報を入手していない

問39　あなたは、障害のある人の情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか。（○は２つまで）

1．インターネット・ファックスなど、個々の障害に適応した形による情報提供
2．障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備
3．手話通訳者、要約筆記者の派遣など、コミュニケーション・情報支援の充実
4．その他（　　）
5．特にない

9　介助者の状況

問40　あなたの介助者の年齢は、何歳ですか。（令和元年12月１日現在）（１つに○）

1．20歳未満	2．20～29歳	3．30～39歳	4．40～49歳
5．50～59歳	6．60～69歳	7．70～79歳	8．80歳以上

問41　あなたの介助者は、あなたの介助を始めてどれくらいですか。（１つに○）

1．１年未満	2．１～３年	3．３～５年	4．５～10年
5．10～15年	6．15～20年	7．20～30年	8．30年以上

問42　普段、あなたを介助しているのは、どなたですか。（１つに○）

1．父母、祖父母、きょうだい	2．配偶者（夫または妻）
3．子ども（子の配偶者・孫を含む）	4．友だち・仲間など
5．ボランティア	6．ホームヘルパーや施設・病院の職員
7．その他（　　）	8．介助は受けていない

問43　主な身の回りの介助をしている方は現在仕事をしていますか。（１つに○）

1．仕事をしている	2．仕事をしていたがやめた	3．仕事をしていない

問44　あなたの介助者は、介助についてどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．生きがい・充実を感じている	2．仲間・友人ができた	3．心身が疲れる
4．自分の時間が持てない	5．経済的負担が大きい	6．仕事・家事が十分にできない
7．自分が介助できなくなった場合のことが不安		
8．わからない	9．その他（　　）	

問45　あなたの介助者が、あなたの介助をできなくなった場合、どのようにしたいですか。（○は2つまで）

1．ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む	2．家族・親戚に頼む
3．知人・友人・近所の人に頼む	4．ボランティアに頼む
5．施設や病院を利用する	6．グループホームを利用する
7．介護・援助は必要としない	8．わからない
9．その他（　　）	

１０　権利擁護について

問46　あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。

1．知っている　　2．知らない

問47　この法律では、障害を理由として、正当な理由なくサービスを拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような「不当な差別的取扱い」を禁止していますが、これまでに差別を受けたり、見たり聞いたりしたことはありますか。（１つに○）

1．ある　　2．ない　⇒問50 へ

問48　問47 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。どこで、誰から、どのようなことでしたか（あてはまるものすべてに○）

どこで	1．職場　2．学校など　3．障害者施設 4．病院　5．店舗・飲食店　6．公共施設 7．宿泊施設　8．交通機関（バス・鉄道・タクシーなど） 9．その他（　　）
誰から	1．事業主　2．学校などの職員　3．施設職員　4．医師や看護師 5．店員　6．駅員や乗務員　7．近隣の人　8．友人・知人 9．知らない　１０．その他（　　）
どのようなこと	1．店舗や施設への入店・入場を断られた 2．交通機関の利用を拒否された 3．同一労働をしているのに賃金が安い 4．その他（　　）

問49　問47 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。誰にまたはどんなところに相談しましたか。（○は２つまで）

1．家族	2．友人・知人	3．近隣の人	4．学校
5．市役所	6．相談支援事業所	7．施設職員	8．障害者団体
9．労働基準局	１０．誰にも相談していない	１１．その他（　　）	

１１　成年後見制度について

問50　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

1．知っている	2．知らない

問51　あなたは、成年後見制度を利用していますか。

１．利用している	２．利用に向けて手続きを進めている
３．利用していない	

１２　障害者虐待防止法について

問52　あなたは、障害者虐待防止法を知っていますか。

1．知っている	2．知らない

問53　あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。

1．知っている	2．知らない

１３　今後の施策の重要度

問54　流山市の福祉施策について、あなたが重要と思う施策はどれですか。（○は５つまで）

1．自宅での生活を支援する在宅サービスの充実
2．高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実
3．グループホームなど地域で生活するための場所の充実
4．機能回復や地域生活に必要な訓練の充実
5．福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実
6．隣近所などの理解や協力による見守り活動への支援の充実
7．ボランティアの育成や活動、地域活動への支援の充実
8．住民同士がふれあう機会や場の充実
9．誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実
10．住民の自主的な健康づくり活動への支援の充実
11．差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実
12．何でも相談できる窓口など相談体制の充実
13．行政からの保健や福祉に関する情報提供の充実
14．安心して子どもを生み育てられる子育て環境の充実
15．健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実
16．重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備
17．サービス利用手続きの簡素化
18．保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上
19．医療・保健・福祉・教育の連携強化
20．災害のときの避難誘導体制の整備・充実
21．地域と連携した防犯活動の充実
22．交通の利便性の確保
23．道路の段差解消など、バリアフリー化の推進
24．働く意欲のある人への就労支援の充実
25．障害福祉サービス等を利用するときの利用負担の軽減
26．自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実

問55　障害者（児）施策全般について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。ご記入の調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**令和２年1月10日（金）**までにポストに投函してください。

流山市障害福祉計画アンケート調査

結果報告書

令和２年３月

発　　行　流山市
編　　集　流山市 障害者支援課
〒270-0192　千葉県流山市平和台１丁目１番地の１
電　話　04-7150-6081
ＦＡＸ　04-7158-2727